

創立宣言文

剣山と吉野川の間広がる美しい
美馬今ここに我等若人が相集い英知
と勇氣と情熱をもって明日の豊かな
郷土を築くため友情と奉仕の精神を
基本に若者の鏡となることを誓い
ここに美馬青年会議所の創立を宣言する

一九八一年九月六日

美馬青年会議所

理事長 山内昭典

入会認承証

第六九二号

美馬青年会議所



日本青年会議所正会員
として貴青年会議所の
入会を認承します

一九八一年十二月五日

社団法人日本青年会議所

会頭 森 輝彦

JC三原則 ————— TRAINING (修練)
SERVICE (奉仕)
FRIENDSHIP (友情)

JC宣言 ————— 変革の能動者たらんとする青年として、個人の、真に豊かな
生活の実現を通して、自立した、快適で活力ある地域を創造し、
自由と公正を保障する国家を基盤として、世界の平和と繁栄に貢献し、
地球上のすべての人と、共に生きることを誓う

綱 領 ————— われわれ JAYCEEは、社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者、相集い、力を合わせ、青年としての
英知と勇気と情熱をもって、明るい豊かな社会を築き上げよう

The Creed of

Junior Chamber International — We Believe:

That faith in God gives meaning and purpose to human life;

That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;

That economic justice can best be won by free men through free enterprise;

That government should be of laws rather than of men;

That earth's great treasure lies in human personality; and

That service to humanity is the best work of life.

20周年記念事業

式次第

- 開会宣言
- 国家ならびにJ Cソング斉唱
- J C I クリード唱和
- J C 宣言朗読ならびに綱領唱和
- 御来賓紹介
- 来訪J C 紹介
- 理事長挨拶
- シニア会長挨拶
- 御来賓祝辞
- 祝電披露
- 歴代理事長紹介
- スポンサーJ C へ感謝状・記念品贈呈
- 閉会宣言

20周年記念大懇親会

- オープニング
- 開会挨拶
- 乾 杯
- 記念ゴルフ成績発表・表彰
- 閉 会

日 時 平成13年7月8日(日)
記念式典・懇親会会場
潤水祥雲閣 脇町

記念事業

20周年記念ゴルフコンペ

2001年6月30日(土)

会場 四国カントリークラブ

ファミリー剣山登山

2001年8月19日(日)

会場 剣山

「よりよい町づくりを考える会」

2,000人 パネルディスカッション

2001年11月11日(日)

CONTENTS

| | | | |
|-------------|-------|----------------------------------|---------|
| page. 1 | ————— | ごあいさつ (社)美馬青年会議所2001年度理事長 | 澤田 篤也 |
| page. 2 | ————— | 祝辞 徳島県知事 | 圓藤 寿穂 |
| page. 3 | ————— | 祝辞 美馬郡町村会会長 | 兼西 茂 |
| page. 3 | ————— | 祝辞 脇町ロータリークラブ会長 | 三好 正也 |
| page. 4 | ————— | 祝辞 脇町ライオンズクラブ会長 | 平田 勝信 |
| page. 4 | ————— | 祝辞 半田ライオンズクラブ会長 | 小濱 健次 |
| page. 5 | ————— | 祝辞 (社)日本青年会議所会頭 | 土屋龍一郎 |
| page. 6 | ————— | 祝辞 (社)日本青年会議所四国地区協議会会長 | 井上 幸一 |
| page. 6 | ————— | 祝辞 (社)日本青年会議所徳島ブロック協議会会長 | 山内 成仁 |
| page. 7 | ————— | 祝辞 (社)阿波池田青年会議所理事長 | 大久保浩二 |
| page. 9 | ————— | 20周年の歩み 設立経過報告書 | |
| page. 13&14 | ————— | 20周年の歩み (社)美馬青年会議所1981・82年度初代理事長 | 山内 昭典 |
| page. 15&16 | ————— | 20周年の歩み (社)美馬青年会議所1983年度第2代理事長 | 藤見 親義 |
| page. 17&18 | ————— | 20周年の歩み (社)美馬青年会議所1984年度第3代理事長 | 浪越 繁男 |
| page. 19&20 | ————— | 20周年の歩み (社)美馬青年会議所1985年度第4代理事長 | 脇川 弘志 |
| page. 21&22 | ————— | 20周年の歩み (社)美馬青年会議所1986年度第5代理事長 | 森 廣一 |
| page. 23&24 | ————— | 20周年の歩み (社)美馬青年会議所1987年度第6代理事長 | 森西 博昭 |
| page. 25&26 | ————— | 20周年の歩み (社)美馬青年会議所1988年度第7代理事長 | 原 政義 |
| page. 27&28 | ————— | 20周年の歩み (社)美馬青年会議所1989年度第8代理事長 | 西野 善久 |
| page. 29&30 | ————— | 20周年の歩み (社)美馬青年会議所1990年度第9代理事長 | 佐藤 順二 |
| page. 31&32 | ————— | 20周年の歩み (社)美馬青年会議所1991年度第10代理事長 | 宇民 俊博 |
| page. 33&34 | ————— | 20周年の歩み (社)美馬青年会議所1992年度第11代理事長 | 小田 一夫 |
| page. 35&36 | ————— | 20周年の歩み (社)美馬青年会議所1993年度第12代理事長 | 宮本 公司 |
| page. 37&38 | ————— | 20周年の歩み (社)美馬青年会議所1994年度第13代理事長 | 森 靖 |
| page. 39&40 | ————— | 20周年の歩み (社)美馬青年会議所1995年度第14代理事長 | 南 恒生 |
| page. 41&42 | ————— | 20周年の歩み (社)美馬青年会議所1996年度第15代理事長 | 小田 一城 |
| page. 43&44 | ————— | 20周年の歩み (社)美馬青年会議所1997年度第16代理事長 | 逢坂 伸司 |
| page. 45&46 | ————— | 20周年の歩み (社)美馬青年会議所1998年度第17代理事長 | 秦 健司 |
| page. 47&48 | ————— | 20周年の歩み (社)美馬青年会議所1999年度第18代理事長 | 浜口 伸一 |
| page. 49&50 | ————— | 20周年の歩み (社)美馬青年会議所2000年度第19代理事長 | 前野 光広 |
| page. 51 | ————— | 美馬JＣエリア紹介 | |
| page. 52 | ————— | | 脇 町 |
| page. 53 | ————— | | 美 馬 町 |
| page. 54 | ————— | | 半 田 町 |
| page. 55 | ————— | | 真 光 町 |
| page. 56 | ————— | | 一 宇 村 |
| page. 57 | ————— | | 穴 吹 町 |
| page. 58 | ————— | | 木 屋 平 村 |
| page. 59 | ————— | (社)美馬青年会議所2001年度現役メンバー名簿 | |
| page. 61 | ————— | (社)美馬青年会議所シニアメンバー名簿 | |

ごあいさつ



(社)美馬青年会議所
2001年度理事長

澤 田 篤 也

(社)美馬青年会議所が創立20周年を迎えられる事となりました。設立して頂き、今日まで御指導頂いた先輩方、また深い御理解と御協力を頂いた諸団体の皆様、本当に有り難うございました。お陰をもちまして、我が(社)美馬青年会議所も人間でいう成人式を迎えられる事となり、感謝申し上げます。

数人のチャーターメンバーとスポンサーJ Cであります(社)阿波池田青年会議所様のお力添えにより1981年に発足し、はや20年、色々な活動が刻まれています。誌面に残る活動、また語り継がれる活動、伝説、私達現役メンバーにとっては全て宝物です。時代と共に活動内容も変わってはおりますが、創立当時の目的を見失わず、地域に根差した活動を続ける事で、必ず住み良い豊かな地域社会が実現するものと確信します。

20周年の節目に、これだけはメンバーと一緒に確認し、誌面に残したい事があります。それは、地域を良くしよう、よりよいまちづくりを考えようと望む青年経済人の集まりであるという事と、20周年を機にもう一度初心にかえり、見栄は捨て去り、本質を見つめ、自分の言葉で語り合い、美馬郡に根差す地道な活動を続けていく団体であるという事を認識する事です。少子高齢化、過疎化と地域に抱える問題は山積しております。最近では、市町村合併等、私たちの地道な活動を遥かに上回るスピードで地方が大きく変わろうとしています。

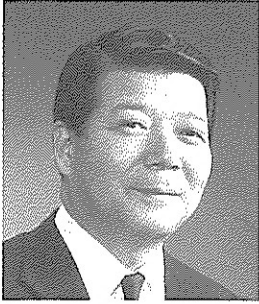
私たちは、これらの時代の変化に焦りを感じ、何もできない自分を情けなく思う時もありますが、今できること、私達だからできることを、少しずつやってゆき地域に貢献したいと思っております。地球全体の環境も、今捨てようとしている小さなゴミの問題から考える事ができるものです。私たちの活動が、今すぐこの地域を変えられるとは思ってはおりませんが青年会議所の活動を続ける事で、いつかよりよいまちづくりが実現するものと確信しております。

私たち現役メンバーは、先輩達の軌跡を見て育ちました。そして、自分たちの子供達が大きくなってまちづくりに参加する時、手本となる様、精一杯活動して地域に貢献したいと思います。悔いが残らない様に……。

最後になりましたが、私達(社)美馬青年会議所は21世紀、また22世紀と、「美馬はひとつ」のコンセプトの基、コミュニケーションを大切に、初心を忘れず永遠に活動を続けたいと思っております。まだまだ未熟者の集まりですが、末永い御指導、御協力をお願い致しまして御礼のご挨拶にかえさせていただきます。

祝

辞



徳島県知事

圓 藤 寿 穂

輝かしい21世紀の幕開けである2001年に、社団法人美馬青年会議所におかれましては、記念すべき創立20周年を迎えられました。誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げますとともに、20年間にわたる地域活性化への熱心なお取り組みに敬意を表する次第であります。

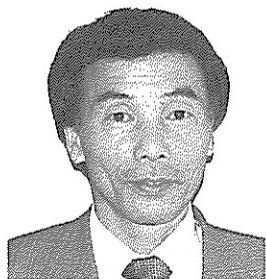
経済や産業、科学技術が著しく発展し、物質的な豊かさを性急に追い求めた「成長の世紀」20世紀を経て、21世紀は人と人、そして人と自然とが調和し共存しつつ、節度ある成長の中で、心を豊かに満たしていく「調和の世紀」となるべきものと考えております。

地域における人と人とのつながりが一層重要性を増す時代にあって、皆様方が地域社会の若さあふれるリーダーとして、企業活動やまちづくり、ボランティアなど幅広い活動に美馬地域一帯となって情熱を持って取り組まれていることは、私ども行政にとって誠に心強いものがあります。

私は、行政と県民の皆様が手を携え、共に考え、共に行動する協働の視点を基本として、県政に全力で取り組んでおりますが、皆様方の活動が核となって、県民参加、県民主体の地域づくりが大きく花開いていくことに、強くご期待申し上げます。

美馬青年会議所の皆様方には、このたびの20周年を契機とされ、より一層活発で幅広い活動を通じて、頼もしい地域のリーダーとしてますますご活躍されますよう心からご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝 辞



美馬郡町村会
会 長

兼 西 茂

20th
anniversaries
message

若い力に期待！

— (社)美馬青年会議所創立20周年に寄せて —

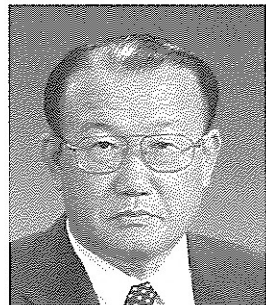
地域に根差した、数々の素晴らしい実績を残しつつ、(社)美馬青年会議所がこの21世紀の幕開けの年に、20周年という節目を迎えられましたこと、謹んでお祝い申し上げます。

貴青年会議所におかれましては、1981年の創立以来、human Reality and Essence 等の基本理念を毎年設定され、地域のリーダーとして夢と希望にあふれた、地域活性化のための地道な諸施策を展開してこられました。依然として行政依存型の社会が続いている地域の中で、勇気と情熱を持って、自らが先頭に立ち地域をリードしていく姿に、心から頼もしさを感じているものです。

ここ数年間のうち、私たちのふるさと美馬郡で一番大きな課題となるのは市町村合併の問題です。ここに暮らすすべての人々が、地域の現状をしっかりと認識し、真剣にそして本音で前向きな議論を重ねてゆく必要があるでしょう。そのためには、行政もできる限り情報を公開し、住民の皆さんと膝をつき合わせて語り合える場所作りに精一杯の汗を流していく覚悟です。

世の中を明るく豊かで安心して生活できるものに変えていくのは、いつの時代も若い力でなければなりません。美馬青年会議所のメンバー諸氏の今後、ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

祝 辞



脇町ロータリークラブ
会 長

三 好 正 也

(社)美馬青年会議所の創立20周年を心からお喜び申し上げます。

我が脇町ロータリークラブと(社)美馬青年会議所は、我がクラブにはあなた方の会の先輩方がたくさんおられ、皆様、非常に我がクラブで貢献されています。

(社)美馬青年会議所と我が脇町ロータリークラブとは、地域に対する提言、奉仕等、お互いの目的が似ており、親しみを感じます。今年度の国際ロータリークラブの最優先課題の一つであります「会員増強」について、あなた方の会の先輩方にぜひ我がクラブに入会していただき、引き続き他人に奉仕をし、成長と繁栄に力を尽くされることをお願いしまして挨拶にかえさせていただきます。

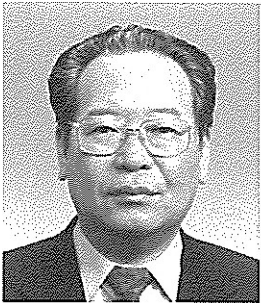
20th
anniversaries
message



脇町ライオンズクラブ
会 長

平 田 勝 信

20th
anniversaries
message



半田ライオンズクラブ
会 長

小 濱 健 次

20th
anniversaries
message

祝 辞

美馬青年会議所の皆様には、21世紀の幕開けのこの記念すべき1年に結成20周年を迎えられました事、心よりお慶び申し上げます。

この間在籍され、卒業された先輩の方々は地域社会の指導者として、ご活躍されています。若さと行動力を兼ね備えた皆様には、この先輩を範として、地域に根ざし、地域に必要とされる青年会議所を目ざし、前進される事を期待しています。

結びにあたり、美馬青年会議所の益々のご発展と会員皆様のご健勝、ご多幸をお祈りしお祝いの言葉とします。

祝 辞

美馬青年会議所の皆さん、輝かしい結成20周年を迎えられ心よりお慶び申し上げます。

貴青年会議所は、結成されて以来、歴代会長はじめ会員の皆様方の日々の献身的なご努力により、多くの困難を無事に乗り越えられて、今日記念すべき20周年を迎えられ、心から敬意を表する次第であります。

さて、21世紀を迎え、深刻な不況もいまだに立ち直れず、また青少年の目にあまる無軌道ぶりや、悪質な事件も続発しており、また少子高齢化、過疎化、高度情報化の進展など新たな潮流がますます加速するものと思われまます。

このような中で、地域に密着した奉仕活動、環境保護などの事業に若い行動力ある取り組みが注目され、期待されております。我々のクラブも今年のカバー・スローガン「新世紀 地域と共に 奉仕の輪」を目指して努力したいと思います。

最後になりましたが、美馬青年会議所の今後のご発展と会員皆様のますますのご健勝、ご多幸を祈念申し上げまして、お喜びの言葉といたします。



(社)日本青年会議所
会 頭

土 屋 龍一郎

—— 社団法人美馬青年会議所創立20周年に寄せて ——

社団法人美馬青年会議所創立20周年をお祝い申し上げますとともに、今日に至るまでの諸先輩、現役諸兄のご尽力に対しまして心より敬意を表します。

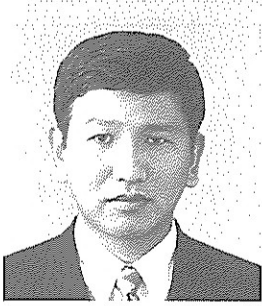
いよいよ新世紀が幕を開け、日本J Cは創立50周年を迎えました。

この大きな時代の通過点である2001年度「新世紀への COMMITMENT 今、Jaycee が日本を拓く」のスローガンの下、確固たる自己を確立し、夢と希望に満ちあふれた新世紀の源流となるべく運動を展開してまいります。COMMITMENTには「誓約」という意味と、「かかわりあい」という意味があります。そこには、私たち Jaycee 1人ひとりが時代の要請に応え、教育、まちづくり、社会起業家等さまざまなテーマにコミットしていくことこそが、新世紀の日本の未来を拓くのだという強い決意が込められています。

日本J C 50年の歴史は、全国L O Mの先輩が総力を挙げて築いてきた資産です。この資産を糧として、地域社会・国家・国際社会とのかかわり方を客観的に把握することで、これからの青年会議所運動のあり方が見えてくるのではないのでしょうか。

1981年9月6日、全国692番目のL O Mとして設立、20年に及ぶ美馬郡の「まちづくり」「ひとづくり」の先駆者として、城下町として栄えた趣ある商家の町並みに見守られ、素晴らしいJ C運動を展開なされ、地域の未来を創りあげてこられました。

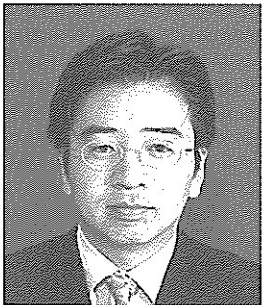
これからも澤田篤也理事長率いる社団法人美馬青年会議所の皆様が「Dream City Mima ～本質をみつめ、本音で語り合う まちづくり～」スローガンの下、L O M 20年の資産を生かしながら新たな一歩を踏み出す事を心からお祈り申し上げます、挨拶といたします。



(社)日本青年会議所
四国地区協議会会長

井 上 幸 一

20th
anniversaries
message



(社)日本青年会議所
徳島ブロック協議会会長

山 内 成 仁

20th
anniversaries
message

祝 辞

(社)美馬青年会議所の20周年誠におめでとうございます。

1981年、(社)阿波池田青年会議所をスポンサーとして創立され、認証番号692番。その想いは20年間、先輩方に脈々と引き継がれ現在があります。その20年に及ぶ先輩方の『美馬に対する熱い想い』をここで我々現役メンバーがしっかり検証して〈変革の能動者〉にふさわしい「まちづくり運動」を今、創造する義務と権利があります。新しいまちづくり運動にはパワーが必要です。我々青年にはそのパワー（力）があると確信しております。

ちびっこ相撲大会（美馬場所）に代表される青少年事業。観光マップ作成・町村合併問題の勉強会などのまちづくり事業。数々の事業に積極的に取り組まれ日々パワーある活動を継続されていらっしゃることに敬意を表する次第です。

この20周年を期に、澤田篤也理事長を中心として(社)美馬青年会議所のメンバーの皆様が、より一層、地域に根ざした事業、志民としての積極的活動をして頂けますこと期待いたしております。

『Human Reality and Essence』

四国だから四国らしく

四国州実現に向けて

四国地区30LOMは、美馬JCの活動を応援いたします。

祝 辞

社団法人美馬青年会議所におかれましては、21世紀幕開けの本年、創立20周年を迎えられまして誠におめでとうございます。創立より今まで支えてこられたメンバー、そしてOBの皆様の御努力に敬意を表します。

創立以来20年間、ちびっこ相撲等の事業を通して、地域発展のため美馬郡地域のリーダーとして活躍されてこられた事と存じ上げております。最近におかれましては、合併問題に対しても検討されており地域の発展と明るい豊かなまちづくりの現実を目指されております。

今後も、今まで20年間築き上げてこられた実績と地域一帯となった事業展開を御期待申し上げ、美馬郡の発展に貢献して頂きたいと思っております。

最後になりましたが、会員皆様方の御健勝と御活躍を祈念申し上げまして御祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



(社)阿波池田青年会議所
理 事 長

大久保 浩 二

20th

anniversaries

message

(社)美馬青年会議所創立20周年、誠におめでとうございます。

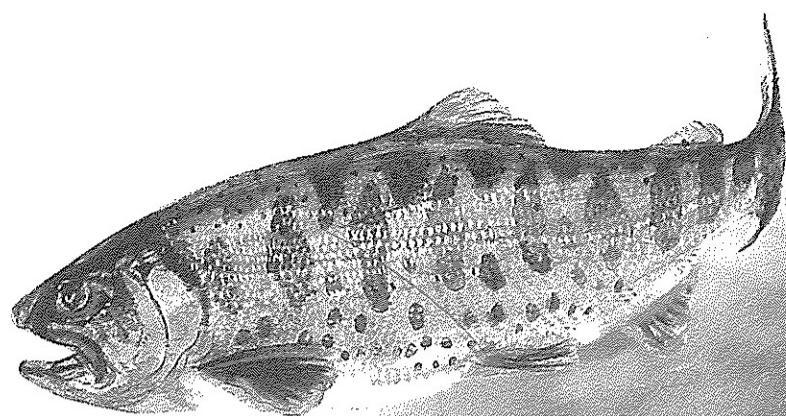
(社)阿波池田青年会議所会員一同、心よりお慶び申し上げます。創立以来、20年間にわたり、常に地域活動の先頭に立って地域の皆様方と共に、数々の事業を通じて活躍して来られた諸先輩方をはじめ、関係者の方々に深く敬意を表する次第でございます。

また、理事長をはじめ会員の皆様には、近隣ということもあり常日頃より、親睦を深めて頂いております事にも感謝申し上げます。今後とも、美馬郡、三好郡の発展を目指し互いに切磋琢磨しながら「明るい豊かなまちづくり」に邁進できれば幸いです。

さて、美馬郡は「歴史の町」と呼ぶにふさわしく古くから暮らしの足跡が見える町です。なかでも阿波藍の商家が軒を並べている脇町は、うだつが現存する歴史的スポットでもあり、松竹映画「虹をつかむ男」のロケ地として一躍脚光を浴びたことでも有名です。この風情溢れる町並みをいかしながら、新たな歴史を作り上げていただきたいと思います。

最後になりましたが、(社)美馬青年会議所の皆様がこれを契機に、さらに新たな一歩を踏み出し、今後ますます素晴らしいJ C運動が展開されますことをご祈念申し上げまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

美馬青年会議所20周年の歩み



設 立 経 過 報 告 書

- 1980年12月15日 於 池田町商工会議所
会合名 「美馬青年会議所を設立するには」
議 題 美馬郡を中心に青年会議所を設立したいが、どのような方法と課程を必要とするか。青年会議所の必要性、運動、概要、設立について説明を受ける。
- 1981年1月22日 於 池田町 理事長 真鍋克俊君宅
会合名 「美馬青年会議所設立について」
議 題 設立についての支援を要請する。
- 1981年2月6日 於 穴吹町西部観光社
会合名 「青年会議所についての説明会の打合せ」
議 題 青年会議所について、阿波池田青年会議所より理事長真鍋克俊君他2名を招いて説明会を開くための打合せをする。
- 1981年2月27日 於 穴吹町金剛土地事務所
会合名 「第1回説明会」
議 題 青年会議所の運動、概要、設立についての説明をうけ、美馬郡地域に青年会議所の必要性について話しを聞く。
- 1981年3月5日 於 穴吹町西部観光社
会合名 「第2回説明会」
議 題 青年会議所の歴史を中心に運動理念について話しを聞く。
- 1981年3月18日 於 池田町商工会議所
会合名 「阿波池田青年会議所3月例会」
議 題 例会に参加、見学する。
- 1981年3月23日 於 穴吹町金剛土地事務所
会合名 「発起人会発足についての打合せ」
議 題 発起人会の発足について協議し、宇民俊博君・前田利彦君・山内昭典君・中川元佑君・井上實君の5名を発起人とし代表に山内昭典君を選出し、阿波池田青年会議所理事長真鍋克俊君に、発起人代表山内昭典君が推薦青年会議所の依頼を口頭で行う。
- 1981年4月2日 於 穴吹町西部観光社
会合名 「第1回発起人会」
議 題 今後の日程について打合せをする。
- 1981年4月9日 於 穴吹町西部観光社
会合名 「第2回発起人会」
議 題 阿波池田青年会議所理事長真鍋克俊君より、発起人代表山内昭典君に席上推薦青年会議所の承諾書を手わたされる。会員の拡大と設立準備委員会発足についての指導を受ける。
- 1981年4月15日 於 脇町 脇町福祉センター
会合名 「第3回説明会」
議 題 青年会議所運動と青年会議所の基本理念について説明を受ける。
- 1981年4月25日 於 池田町真鍋克俊君宅
会合名 「阿波池田青年会議所 第3回拡大委員会」
議 題 設立準備委員会の発足と運営方法について指導を受ける。
- 1981年5月6日 於 穴吹町前田利彦君宅
会合名 「第3回発起人会」
議 題 美馬青年会議所設立準備委員会発足について必要な原案を作成する。
- 1981年5月12日 於 脇町新町レストラン
会合名 「美馬青年会議所 第1回設立準備委員会」
議 題 発起人会を発展的に解消し設立準備委員会15名が発足し、次の事項を決定する。
決定事項 ① 設立準備委員会の選任
② 設立趣意書の採択

③ 役員の選任

④ 会費の決定

設立準備委員会 委員会 山内 昭典君
副委員長 前田 利彦君
副委員長 井上 實君
副委員長 中川 元佑君
事務局長 宇民 俊博君

- 1981年5月24日 於 脇町 脇町福祉センター
会合名 「美馬青年会議所設立準備委員会 第1回三役会」
議 題 組織と正副委員長の決定をし委員の配属は設立準備委員長に一任することに決める。
- 1981年5月26日 於 穴吹町金剛土地事務所
会合名 「美馬青年会議所設立準備委員会 第2回三役会」
議 題 役員会の進め方を中心に今後の日程と定款、諸規定等のつくり方について指導を受ける。また脇町商工会館の2階を事務局および会議室に借用することを決め、設立準備委員会の今後の具体的日程および各委員会の創立総会に向けての役割分担を検討する。
- 1981年6月2日 於 池田町商工会議所
会合名 「社団法人阿波池田青年会議所臨時総会」
議 題 会議の進め方について見学する。
- 1981年6月10日① 於 脇町 脇川弘志君宅
会合名 「設立準備委員会 第1回総務委員会」
議 題 例会運営方法の検討と定款、諸規程等の作成を開始する。
- 1981年6月10日② 於 脇町藤田圭造君宅
会合名 「設立準備委員会 第1回会員開発委員会」
議 題 入会申込書のとりまとめと会員拡大のためのリストアップをする。
- 1981年6月11日 於 美馬町美馬温泉
会合名 「設立準備委員会 第1回社会開発委員会」
議 題 創立総会の対外PR等について協議する。
- 1981年6月17日 於 脇町新町レストラン
会合名 「美馬青年会議所 第2回設立準備委員会」
議 題 社団法人阿波池田青年会議所理事長真鍋克俊君より、創立総会の日時定款、および諸規定作成の指導を受ける。
- 1981年6月24日 於 穴吹町山内工務所
会合名 「美馬青年会議所設立準備委員会 第3回三役会」
議 題 会員拡大の現状を分析し討議する。また創立総会までの役割分担について指導を受ける。
- 1981年7月1日 於 穴吹町西部観光社
会合名 「美馬青年会議所設立準備委員会 第1回役員会」
議 題 創立総会、創立総会記念式典について指導をうける。
- 1981年7月8日 於 脇町森 廣一君宅
会合名 「設立準備委員会 第2回総務委員会」
議 題 定款、諸規定等の作成と今後の日程について協議する。
- 1981年7月10日① 於 脇町役場
会合名 「表敬訪問」
議 題 脇町役場で町長、議長、助役、収入役、教育長に社団法人阿波池田青年会議所が推薦青年会議所となって美馬青年会議所設立準備委員会が発足し、9月6日創立総会を迎える旨を報告する。
- 1981年7月10日② 於 脇町商工会館
会合名 「表敬訪問」
議 題 脇町商工会館会長に今までの経過を報告すると同時に事務局および会議室提供について正式に申し入れる。

- 1981年7月13日 於 脇町新町レストラン
 会合名 「設立準備委員会 第1回指導力開発委員会」
 「設立準備委員会 第2回社会開発委員会」
 議 題 県内各地青年会議所訪問の準備と招待者名簿を作成する。
- 1981年7月15日 於 脇町新町レストラン
 会合名 「設立準備委員会 第2回会員開発委員会」
 議 題 入会申込書の集計結果、55名が確認される。今後、拡大予定について協議し終了後、懇親会を行なう。
- 1981年7月26日① 於 川之江市川之江市民会館
 会合名 「川之江青年会議所 10周年記念式典」
 議 題 10周年記念式典を見学する。
- 1981年7月26日② 於 脇町商工会館
 会合名 「美馬青年会議所設立準備委員会 第4回三役会」
 議 題 招待者の最終決定と招待状発送の打合せをする。
- 1981年7月26日③ 於 美馬町前田豊太郎君宅
 会合名 「設立準備委員会 第3回社会開発委員会」
 議 題 創立総会記念式典の運営方法を協議する。
- 1981年7月27日① 於 美馬町前田豊太郎君宅
 会合名 「設立準備委員会 第4回社会開発委員会」
 議 題 創立総会記念式典の内容を検討する。
- 1981年7月27日② 於 脇町新町レストラン
 会合名 「設立準備委員会 第2回指導力開発委員会」
 議 題 創立総会記念式典および懇親会の設営および進行について検討し記念品、駐車場、海上の案内等について具体的に協議する。
- 1981年7月28日 於 脇町新町レストラン
 会合名 「美馬青年会議所設立準備委員会 第5回三役会」
 議 題 各委員会の現況を把握し今後の計画をたてる。
- 1981年7月29日 於 脇町新町レストラン
 会合名 「美馬青年会議所設立準備委員会 第2回役員会」
 議 題 次回設立準備委員会の日程、総会資料、会員募集の締切等について決定し、創立総会当日の役割分担について決定する。
- 1981年8月10日 於 脇町森 廣一君宅
 会合名 「設立準備委員会 第3回総務委員会」
 議 題 定款、諸規程等の校正をし、創立総会資料の検討をする。
- 1981年8月12日 於 脇町藤田圭造君宅
 会合名 「設立準備委員会 第3回会員開発委員会」
 議 題 入会申込書の取りまとめをする。
- 1981年8月17日 於 脇町正木一明君宅
 会合名 「設立準備委員会 第3回指導力開発委員会」
 議 題 創立総会記念式典および懇親会の運営方法を協議する。
- 1981年8月18日① 於 脇町新町レストラン(第1会議室)
 会合名 「美馬青年会議所設立準備委員会 第3回役員会」
 議 題 定款、諸規定等の最終検討をし、組織図表について指導を受ける。
- 1981年8月18日② 於 脇町新町レストラン(第2会議室)
 会合名 「設立準備委員会 第4回総務委員会」
 議 題 創立総会の運営方法の指導を受ける。
- 1981年8月19日① 於 脇町新町レストラン
 会合名 「美馬青年会議所 第3回設立準備委員会」
 議 題 定款、諸規定、年会費、創立宣言文、およびスローガン等について協議する。役員および各委

- 員会構成について協議する。
- 1981年8月19日② 於 脇町新町レストラン
 会合名 「設立準備委員会 第5回社会開発委員会」
 議 題 創立総会記念式典および祝賀懇親会の役割分担を確認する。
- 1981年8月21日 於 脇町 脇町福祉センター
 会合名 「設立準備委員会 第4回会員開発委員会」
 議 題 入会申込書を集計し、会員数55名となる。
- 1981年8月23日 於 穴吹町金剛土地事務所
 会合名 「美馬青年会議所設立準備委員会 第4回役員会」
 議 題 組織図表原案を作成する。創立総会の打合せをする。
- 1981年8月24日 於 脇町 脇町福祉センター
 会合名 「設立準備委員会 第4回指導力開発委員会」
 「設立準備委員会 第6回社会開発委員会」
 議 題 創立総会記念式典および祝賀懇親会について検討する。
- 1981年8月25日 於 脇町商工会館
 会合名 「美馬青年会議所設立準備委員会 第5回役員会」
 議 題 創立総会の最終打合せをする。
- 1981年8月27日 於 脇町新町レストラン
 会合名 「設立準備委員会 第5回指導力開発委員会」
 「設立準備委員会 第7回社会開発委員会」
 議 題 創立総会記念式典および祝賀懇親会運営について打合せをする。
- 1981年8月28日 於 脇町新町レストラン
 会合名 「美馬青年会議所 第3回設立準備委員会」
 議 題 創立総会記念式典のリハーサルをし、指導をうける。
- 1981年8月29日 於 脇町新町レストラン
 会合名 「美馬青年会議所 第4回設立準備委員会」
 議 題 創立総会記念式典および祝賀懇親会のリハーサルをし指導を受ける。
- 1981年9月3日 於 脇町新町レストラン
 会合名 「美馬青年会議所設立総会」
 議 題 設立総会を行ない以下の事項が承認される。
 ①定款案ならびに諸規程案の承認
 ②役員選任のための選考委員の承認
 選考委員代表 山内 昭典君 井上 實君 井川 英秋君
 中川 元佑君 宇民 俊博君
 ③創立宣言文の承認
- 1981年9月5日① 於 脇町美馬広域住民センター
 会合名 「美馬青年会議所 第5回設立準備委員会」
 議 題 創立総会記念式典および祝賀懇親会の指導を受ける。
- 1981年9月5日② 於 鴨島町三倉屋会館
 会合名 「鴨島青年会議所パーフェクト例会」
 議 題 例会を見学し、創立総会への出席を要請する。
- 1981年9月6日 於 脇町美馬広域住民センター
 会合名 「美馬青年会議所創立総会」
 議 題 創立総会を開催する。
 創立総会 午前9時30分～午前10時30分
 記念式典 午後1時～午後2時30分
 祝賀懇親会 午後3時～午後4時30分

祝

辞



(社)美馬青年会議所
1981・82年度理事長

山内 昭典

美馬青年会議所が20周年を迎えるに当たり一言お祝いを申し上げます。

この度、歴代会員の皆様や現役でご活躍の皆様のご尽力により、こうして20周年の大きな節目を迎える事が出来ました事は、初代の理事長を務めました私にとりましてこの上ない喜びと感激でございます。

また、現役で頑張っている会員の皆様も、この度の式典への準備等で今まで以上に大変だとは思いますが、精一杯頑張っ、やり遂げて欲しいと懇願しております、きっと大きな感激を味わうことができるでしょう、そして今後の糧にして頂きたいと思ひます。

私も振り返ってみれば20年前の1981年始め、宇民、前田、中川、井上各メンバーと私の5人を発起人とし、真鍋理事長を筆頭とする池田青年会議所の指導のもと、美馬郡内の若者達に参加を呼びかけ53人の会員を確保し、その後やっとの思ひで、9月6日脇町の美馬広域住民センターに於いて創立総会を開催する事が出来ました。

そして会員の連日連夜の努力のもと、申請書を作成し11月3日鹿児島県で行われる日本青年会議所の全国大会(拡大委員会)に於いて審査を受けたものの、日付ミスまた誤字等の指摘を受け受理されず、涙ながらの帰県となりました。

その後、再度見直しを致す事となり、池田J Cの方々の協力のもと何度も校正を行い11月13日京都会議の拡大委員会に提出して審査を受けました、努力の甲斐あって、見事答申書は、受理承諾となりました、この時は、私は勿論、会員の方々の喜びも一潮ではなかったと思ひます。

数日後製本をして日本青年会議所まで送付し、そして12月5日東京の日本青年会議所会館に於いて“692号”の認承証を受理し、そして翌日6日の家族会の席上に於いて、会員の皆様に報告する事が出来ました。

しかしその喜びもつかの間で、その後が苦勞の連続で認承証の伝達式典の計画実行に向かって会場の確保、設営、記念誌の記事、祝辞の依頼回収、資金集めの広告依頼集金、対外L O MへのP R、当日の招待状等今思えばよく頑張ったと思ひます、私もチャーターメンバーの方々も当時の事をきっと忘れる事は無いでしょう、そしてこの20年間継続してきたO B会員、現役会員の方々の青年会議所での経験は社会に於いても会社に於いても大いに役に立つ事と思ひます、こういうすばらしい人達の集まりが美馬青年会議所であり美馬J Cである事を誇りに思っています。

どうぞこの大きな節目の20周年記念を21世紀の第一歩として、更なる飛躍をご期待してお祝いの言葉と致します。

(社)美馬青年会議所 1981.82年度所信表明

我々は「英知と勇氣と情熱」をもって社会につくします

20th
anniversaries
message

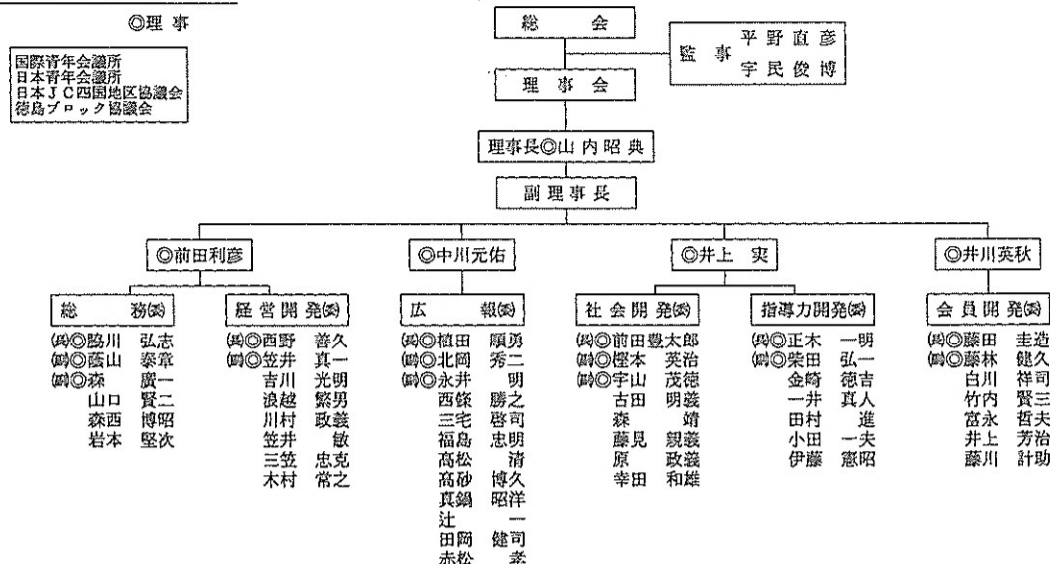
1981.82

思えば昨年12月に(社)阿波池田青年会議所の呼びかけにより、宇民俊博君、前田利彦君の活発的な働きで発起人及び会員を募り、幾度となく発起人会を開き、説明会を重ねた結果、全員の熱意が最高に盛り上がった時期、昭和56年9月6日に美馬青年会議所の創立総会を開催する事が出来ました。それには皆様1人1人の骨身を惜しまない協力の賜ものだと感謝しております。又私も創立総会におきまして初代の理事長の大役を引受けましたが、未熟の私が責任をもってこの重責を遂行する事が出来るか不安が一杯です。しかし1度大役を引受けました以上、一大決心をして美馬青年会議所の為に粉骨砕身全力をもって働きたいと思えます。

又先日総会の席上におきまして温かいお慶びの言葉、励ましの言葉、期待の言葉を頂戴致しました。内藤県議、脇町長、穴吹町長、町村会長、脇町穴吹両商工会長、脇町ライオンズクラブ、脇町ロータリークラブの会長、又四国地区内より竹内地区長、筒井ブロック長、池田J.C真鍋理事長、その他祝電を頂きました方々を初めスポンサークラブであります池田青年会議所の御指導を賜った人々に感謝し報いる為にも我々美馬青年会議所の会員の皆さん、今まで以上の熱意と行動力をもって地域社会の為に頑張っていかなければなりません。

来る10月3日鹿児島市で開催される全国大会において認証の書類答申が行なわれます。その書類につきましては、総務委員会の各委員さんが自分の仕事及び家庭を投げ捨ててまで、一生懸命の努力により仕上げる事が出来ました。又、広報委員会におきましては、この第1回目の例報剣山(美馬ニュース)の発刊と次々情熱を燃やし続けております。どうかこの意欲と熱意を持続し、来春の認承証伝達式に向かって突き進んで行こうではありませんか。私自身も皆様の意欲に負けない様、美馬青年会議所が他の青年会議所に負けない様勉強し努力してまいりたいと思えます。それには会員全員の和を計り、一致団結すれば何事もなし得ない事はないと思えます。どうか宣言文通り『剣山と吉野川の間』に広がるこの美しい美馬』を、過疎から守り、青少年を非行から守り育成し、犯罪をなくし明るい街造りを目的として、他の種々の団体等と手を結び合っていきたいと思えます。その中には我々と共に喜びを、又苦勞を分かちあう「誠心」に燃える若者が美馬郡内にはたくさんいるはずで。その人達にも青年会議所とは何かを知ってもらい、仲間となって戴き「英知と勇氣と情熱」をもって、社会地域の為に広く活動して、県内にいや四国に、美馬青年会議所ここに有りと言われる様に会員の皆様の尚一層の御協力と御鞭撻をお願い致しまして私の挨拶といたします。

1981.82年度組織図



祝 辞



(社)美馬青年会議所
1983年度第2代理事長

藤 見 親 義

(社)美馬青年会議所創立20周年を迎えるにあたり、OBとして地元住民の1人として心よりお慶び申し上げます。

日本はもとより世界の社会情勢不安の中、美馬郡7カ町村の合併が推進されようとしている今日“足元を見る”“足元から”という意味から、地域の中での活動が重要視されています。これからの美馬郡のよりよいまちづくりを考え、幅広い(社)美馬青年会議所の活動を心強く思っています。

我々の時代創立当初時になります。現在のような穏やかな話し合いの場は少なく、荒々しい言葉や意見も飛び交い、夜遅くまで時間を費やしたものでした。その中で生まれた事業としては、竜王山の桜いっぱい運動、小学校の標語や絵・イラストを自由に盛り込んだうちわづくりの交通安全フェスティバル、深く考え真剣に取り組んだ中国問題講演会開会など、いろいろと思い出されます。

個性が少なくなったといわれるようになった昨今、1つの団体として前向きな活動も多々難題を抱える場面もあるでしょうが、若い力、柔軟な考えをもった若人の特権をフルに活かし、(社)美馬青年会議所ならではの活動を期待してお祝いの言葉とさせていただきます。



スナップ写真は順不同です。

(社)美馬青年会議所 1983年度所信表明

「魅力ある地域社会を創るためにわれわれは何をなすべきか」

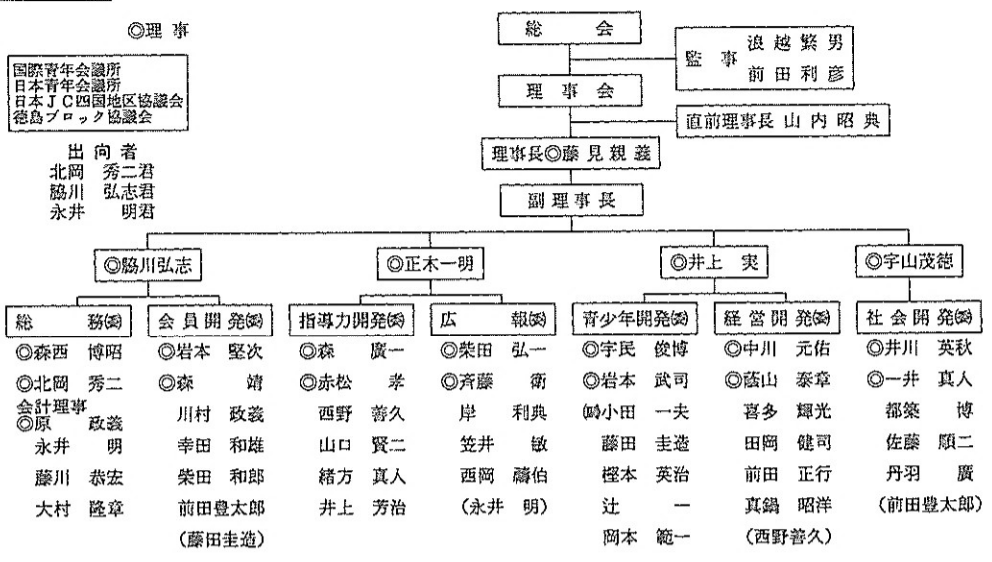
わが美馬J.Cも発足以来1カ年余を経過しました。設立準備委員の皆様方の、ほぼ10カ月にわたる御苦心、さらには、サポートして下さった各団体、個人の方々の熱意の結果結実したわが美馬J.Cのこの1年の歩みは、会員諸氏のやる気と努力に支えられて、活気ある意義深いものであったと思います。

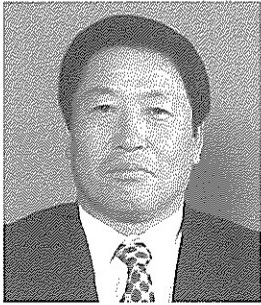
とは言え、まだわれわれの圏域社会への働きかけは充分であるとは申せません。この1年間は、まだまだ美馬J.C内部の結束と友好に重点がおかれ、圏域社会においてのJ.Cの存在価値を対外的に認識せしめ、かつまた社会への貢献を果たすというところまでには至っていない段階であったことは否定できぬであろうと思われまふ。たしかに地域社会におけるわれわれ若き経済人同志の友好と結束は非常に重要であります。国の内外は言うまでもなく、また国内の中央、地方を問わず経済不況の波は、われわれを翻弄しつづけております。この現状においてこそ、われわれは結束を強め苦境を打ち破るために相互の協力を惜しまぬようにしなければなりません。しかしわれわれJ.Cにとって、さらに重要なことは、単にJ.C内部での親睦友好を深めるだけでなく、結束して地域社会を、より豊かなものへとクリエイティブしてゆく努力であります。具体的プランをたて、それに従って強力な行動を推進してゆくとき、それ故にこそ、さらに結束は強まってくることでしょ。さてそれでは、われわれJ.Cが地域社会に貢献し、より行動的であるために、われわれはどのようなべきでしょうか。われわれはすでに現在各々の企業を経営し、その経済活動を通じて社会機能の推進の一端を担っていることは事実であります。自己の関与し、経営する企業体をより隆盛に導く努力が、とりもなおさず社会を発展せしめる動因であることは言うまでもありません。だがそれだけではJ.Cの意義は半ば満すに過ぎません。そのレベルでは満足しないからこそJ.Cであります。個々の企業体のレベルを超えて、より豊かな地域社会をクリエイティブする母体としてのJ.Cでなければなりません。そのため私は1つの方針として「政経一致」の方向づけを提案したいと思うのであります。

政治と経済は常に表裏一体をなすものであります。たとえわれわれが社会福祉に貢献すべく様々な行事を行ったところで、それが行政サイドによって裏付けられていなければ、単なるイベントに終るだけであります。イベントは、それがどれほど効果的なものであろうとも、所詮は一時的なお祭り騒ぎにすぎません。われわれはもっと永久的な、社会に根づく様なプランをおこし、社会を創り上げる働きをしなければなりません。それには行政機関とタイアップなくしては事はないであります。圏域社会内の各行政機関と常に緊密な関連を保ち、行政サイドでおこす事業にアイデアを提供し、それらを積極的にサポートし、また場合によっては主導的にこれらを推進してゆく立場をとること。われわれJ.C人の本来の能力がフルに発揮されることであります。過疎対策、老人問題、雇用問題、地域購買力の活性化、さらには青少年問題。特に有能な人材をどのようにして地域社会のために活動させるか。現今の社会風潮はあながちに中央志向ばかりではありません。有能な青年たちも多くは、働き甲斐のある場さえあれば故郷の地で働くことを希望しているのです。われわれが参加して行動すべき問題はいくらでもあります。豊かで魅力ある地域社会建設のために活発に行動してゆく時は、まさに今であると信じているものであります。

20th
anniversaries
message
1983

1983年度組織図





(社)美馬青年会議所
1984年度第3代理事長

浪 越 繁 男

祝 辞

(社)美馬青年会議所が20周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。卒業生の1人として現役の皆様と共に喜びを分かち合いたいと思います。

私は3代目理事長を努めさせていただきました。設立後日の浅いJCなので日本青年会議所、地区、ブロックの会員に美馬JCを知って頂こうと言う事で、内閣総理大臣杯三世代交流ゲートボール大会のブロックでの主管、地区の事業の日中友好交流「西安民族音楽学院の学生による演奏会」のブロックの主管を致しました。ゲートボール大会につきましては、県内JCのテリトリー内での予選会を開き、阿南市のクラブが全国大会に出場し、3位という立派な成績を修めました。我々もチームを引率し、高輪プリンスホテルでの来賓で当時の田中六助自民党幹事長も出席の前夜祭への参加、国立代々木運動公園で行われた大会での応援等選手の皆様のお世話をし、活躍を喜びました。因にゲートボールでの全国大会は初めてでした。青年会議所活動ならではの成果ではないかと思われまます。

又、地区の日中友好交流事業については、各県2会場計8会場で演奏会を行い、演奏会を開いたLOMが経費の負担をするという事でした。美馬JCは1番最初に手を挙げ、地区内最初の演奏会を穴吹町で行う事が出来ました。ここまで至るには、地区の役員と共に西安への招聘(美馬JC4名参加)美馬町による美馬温泉の宿泊の提供、穴吹町による会場の提供、当初美馬JCの1/8の経費負担がブロックのお金で賄われた事等会員協力はもちろんですが、各界の協力がありました。私にとりまして、事業を通じて信頼、友情が生まれ各地に友人知人がたくさんできた事は何よりの財産です。

最後になりましたが、(社)美馬青年会議所が次代を担う青年経済人の受け皿として益々発展されますよう心から祈念し、20周年記念誌発行に寄せるお慶びの言葉と致します。



スナップ写真は順不同です。

(社)美馬青年会議所 1984年度所信表明

20th
anniversaries
message
1984

新年あけましておめでとうございます。84年度理事長に就任するにあたり、基本方針を述べさせていただきます。わが美馬J.Cも早、発足以来4年目を迎えました。過去活発な活動を展開し、他L.O.Mも目を見張るような活動をしてきました。参加者も倍増した「美馬ちびっこ相撲大会」「認可なった社団法人化」など、数々の優れた業績を築きましたが、当J.Cの現状を野球にたとえると、今までは2、3人のホームランバッターがいて、得点をたたき出してくれたが、これからは全員が内野安打で、テキサスヒットでもよい、いやボールをよけないで、デッドボールになってでも出塁し、コツコツと得点をあげてもらわなければならないと思います。そのようなわけで「会員相互の結束を強め、その啓発を計る」を私の基本方針としたいと思います。

まずJ.Cの活動は参加することにあるということは、従来言いふるされて来た事ではありますが、どんな会合でも自分自身で参加せずしてはその会合の雰囲気なり、意義なりが十分理解し得ない事は当然であります。そこで私からお願いがあります。

例会・委員会の出席はもちろんであります、会員それぞれ最低年1回は各地の「周年事業」「大会」等への参加をお願いします。そういう活動を通じて会員の方それぞれが、極力広い交際範囲をもつ様に努力し、会員なればどの方々とも気安く話せるし、遊べるし、酒も飲めると言う様になり、会員相互の結束を強めていってほしいと思います。

我々の活動が地域社会から認知されるには…、その答えは、駅伝競争の中に見つけることができるような気がします。1人1人が全力をあげて走り、着実に他の走者にバトンを引き継ぐ、ポストからポストへの、世代から世代へ、地味ながら基本はこれしかない。むろんその裏には厳しい練習、練習の連続……、考えただけでもあ～あ。正月気分もこれまでか！

私自身も悔いのない1年となるよう努力いたしますので、会員各位の諸君ノよろしく御指導ならびに御協力をお願いいたします。

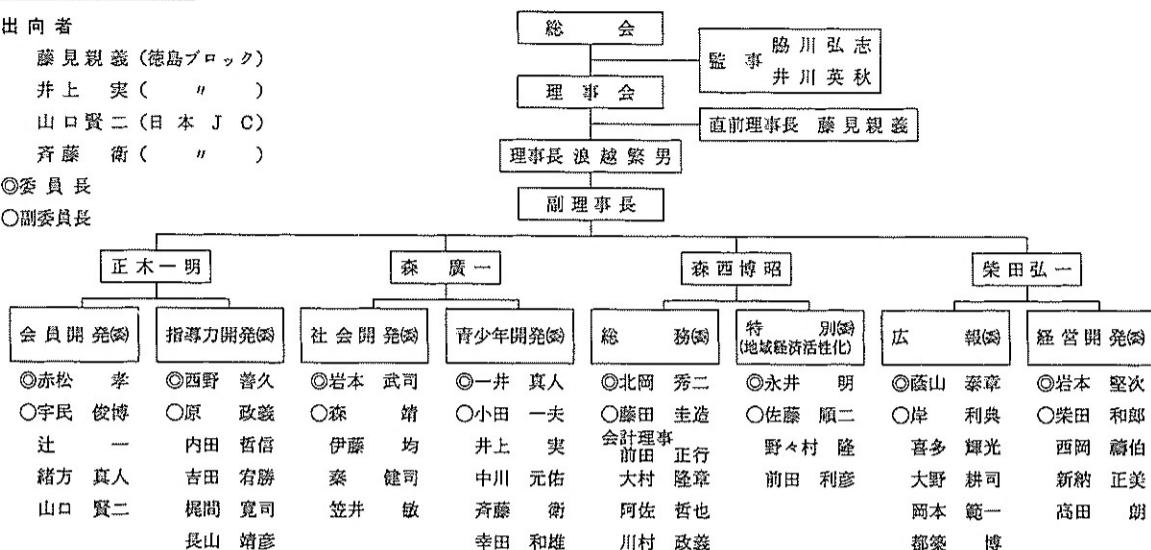
1984年度組織図

出向者

- 藤見親義 (徳島ブロック)
- 井上 実 (")
- 山口賢二 (日本J.C)
- 斉藤 衛 (")

◎委員長

○副委員長





(社)美馬青年会議所
1985年度第4代理事長

脇川 弘志

祝 辞

(社)美馬青年会議所創立20周年、おめでとうございます。

美馬JC創立スローガン「美馬はひとつ」のもとに、数々の事業を展開され今では行政も「美馬はひとつ」と考えているようで美馬JCのスローガンは一応20年目に実現しそうです。

私は、理事長在職時よりも創立時に、総務委員会で苦勞した時の思い出が深く心に残っております。特に定款並びに日本青年会議所への加入申込書の作成時は、スポンサーJCの御指導のもと委員会全員で役割分担をし、毎夜遅くまで苦勞しましたが受理された時の感動は一生の思い出となりました。

又、委員全員が1つの目的に向かって心を1つにし、事業を成し遂げた何ともいえぬ充実感、青年会議所活動なくしては味わえなかった事と感謝しております。

創立時は、認証伝達式の準備で会員全員が多忙な日々で事業等が消化できなくなり急遽事業変更をし、メンバー全員参加による「第1回ちびっこ相撲大会」を開催しました。約460名の小学生の参加のもと大盛会におさめました。その後もこの事業は継続され、今日ではその時の参加者がJC会員となり活動されておられるとの事で喜ばしい限りです。

私が、美馬JC4代目理事長の職務をまっとう出来たのも、関係者各位、諸先輩並びに会員諸兄の、御協力の賜物と今でも感謝しております。

最後になりましたが美馬JCの益々の御発展を祈念申し上げます。



スナップ写真は順不同です。

(社)美馬青年会議所 1985年度所信表明

20th
anniversaries
message

1985

美馬の地に青年会議所の燈が『はぐくもう英知と友情、手をつなごう新しい美馬』のスローガンのもと志を同じくするメンバーにより、青年会議所運動が展開され、今年で5年目ですが一応の事業燈も美馬郡内住民等の方々にも認められ、今後(社)美馬青年会議所への各方面からの期待は増々大きく成っています。メンバーの団結により1985年へ踏み出すにあたり『友情』『奉仕』『修練』の三信条を踏まえ、美馬J.Cの歴史と成果をより以上に作る為に、目的意識をしっかりと持って、総意を結集し、明日に向けて『明るい豊かな社会』を、メンバー自らの手で1つ1つ作って頂きたいと思ひます。

85年度基本方針

I 委員会の活性化

J.C運動は委員会活動の集積であると私は確信しています。各委員会のメンバーは全員参加し、討論をし自分自身に刺激を与え、責任を持ったJ.C運動により、参加することの喜びが味わえる各委員会運営を確立したく思ひます。

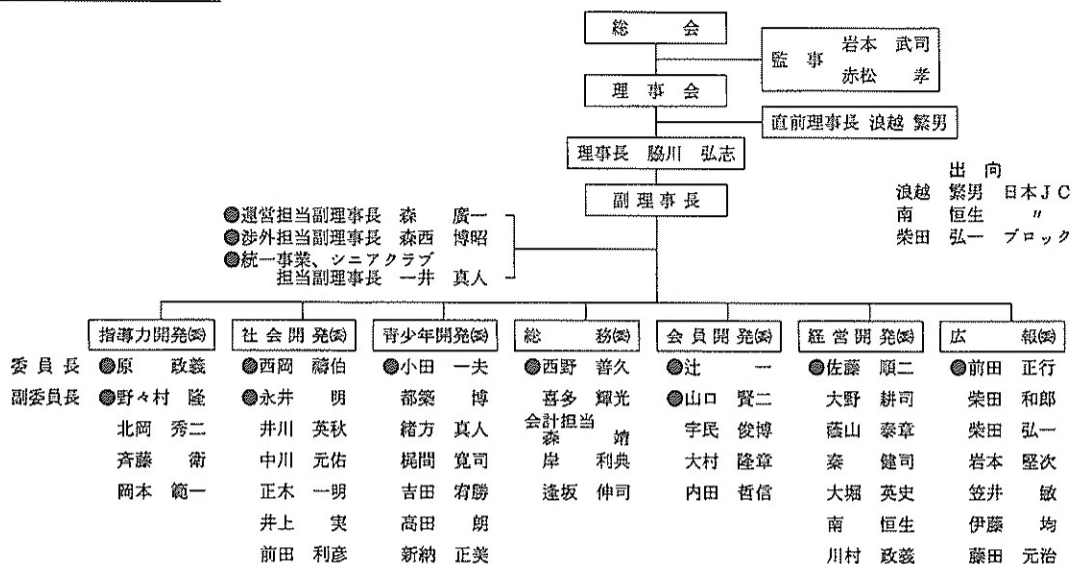
II 地域の活性化とJ.C運動

設立時よりの問題でありました美馬郡内の活性化について勉強研究し、郡内の各種団体等に働きかけ、『地方の時代』を、共に考え一提言をしたく思ひます。

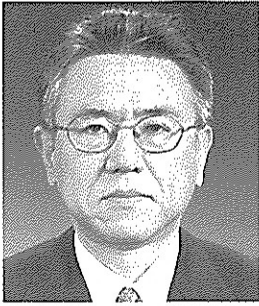
III メンバーのパワーと拡大

スリーピングメンバーとの対話を重ね、より以上のパワーを作り、よりよいJ.C運動を展開する為に是非とも、すばらしい新入会員を拡大する事。

1985年度組織図



祝 辞



(社)美馬青年会議所
1986年度第5代理事長

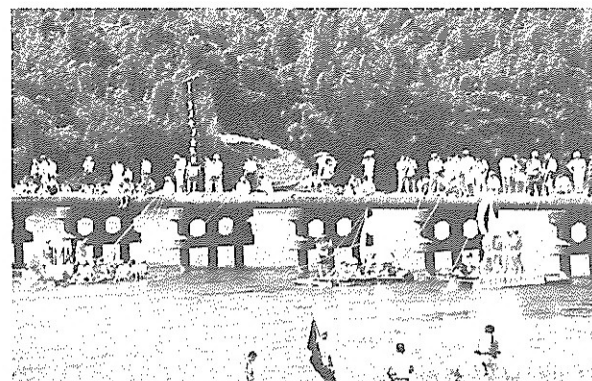
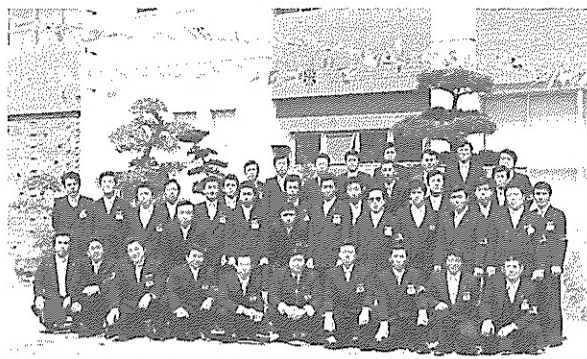
森 廣 一

美馬青年会議所20周年おめでとうございます。

申すまでもなく、美馬青年会議所は、志を同じくする美馬郡内の青年が勇気と英知と情熱をもって明るい美馬郡を創るべく設立されたものであります。私も一会員として、設立当初より参加させていただきましたが、当初を振り返って、懐かしく楽しい思い出とすばらしい仲間たちとの出会いが走馬燈のごとく思い出されます。

私が理事長をさせていただいた当初の美馬青年会議所は、会員数が55名ぐらいでしたが、徳島ブロック会員大会を主管いたしました。美馬らしさを出したいとの考えから、会場を吉野川河川敷とし、トラックでステージを作り、懇親会はバーベキューとキャンプファイヤーで友情を深めました。当時の日本青年会議所河村会頭のターゲット「灯々無尽・・・1本のろうソクの火が次々と他のろうソクに点火されることにより、風で消えない巨大な火（明かり）となるように、青年会議所の一会員の熱い思いを自分の周りの人に点火し続けることにより、その熱い思いが大きな力になる。」を実感すべく企画した、真っ暗い会場で参加会員によるろうソク点火リレーのフィナーレも感動的でした。また、当時副会長の原政義氏を作戦本部長として、100%出席例会を企画し、全会員のご協力により見事達成いたしました。

設立当時より、美馬郡は1つを合言葉に美馬市実現を夢見てきましたが、今まさに、これを実現化しなければならない状況になってきました。美馬青年会議所の会員の出番がきたのではないのでしょうか。ますますのご活躍をご祈念申し上げます。



スナップ写真は順不同です。

(社)美馬青年会議所 1986年度所信表明

修練、友情、そして町づくり

私達は、脇町、穴吹町、貞光町、半田町そして美馬町の美馬郡五町の志を同じくする青年が、明るい豊かな社会づくりを目指して今から5年前に美馬青年会議所という組織を作り、集いました。

そして、私達は、地域のニューリーダーとなるべく自己修練に励み、会員相互の友情を深め、ふるさとの活性化や青少年健全育成等の各種の事業を精力的に推進してまいりました。

最近、美馬郡内で、単一町村単位ではありますが、各種のイベントが催され、ようやく活性化への挑戦がはじまりつつあります。そして、我が会議所のメンバーがこれらのイベントの中心的存在となっている事実は、少なからず社団法人美馬青年会議所の活動が確実な足取りで前進していることの現れであります。私達のふるさと美馬も、本四連絡橋の完成と縦断、横断自動道の整備開通等の外的要因により今までにない環境の激変が予想され、いやが上にも私達青年の使命は非常に重大なものとなります。

このような時代に、私達がなすべきことは何でしょうか。そして私達には何ができるのでしょうか。残念ですが、私達には確たる自信はありません。みなさんはどうでしょうか。

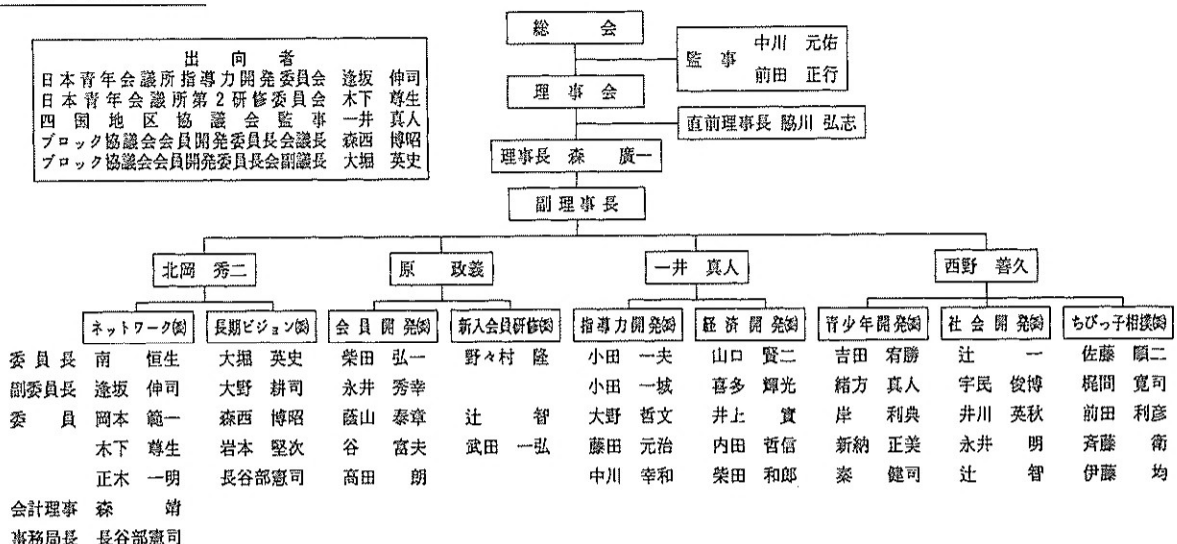
そこで、私は、

1. 会議所は、私達の自己修練、研鑽に励む道場である。
2. 会議所活動は、自分が自らの為にするものである。他人がしてくれるものではない。
3. 会議所を通じて、苦しいこと、楽しいことをいっしょに味わい、会員相互の友情を深める。人づきあいも修練である。苦手な相手ほど、いっしょに活動して、自分を理解させるとともに相手を理解すべきである。
4. 『美馬は一つ』を基本において、各町村の町づくりにも積極的に取り組む。

を1986年度の社団法人美馬青年会議所の活動の基本方針とさせていただきます。

そして、私は、修練を通じて、更に友情を深めあい、すみよい豊かな町づくりに会員諸兄と共に努力できればと願っております。最後になりましたが、理事長というとてもつない修練の機会を与えて下さいました会員諸兄に心より御礼を申し上げますとともに、会員各位の御努力、御活躍を祈念申し上げる次第であります。

1986年度組織図



祝 辞



社美馬青年会議所
1987年度第6代理事長

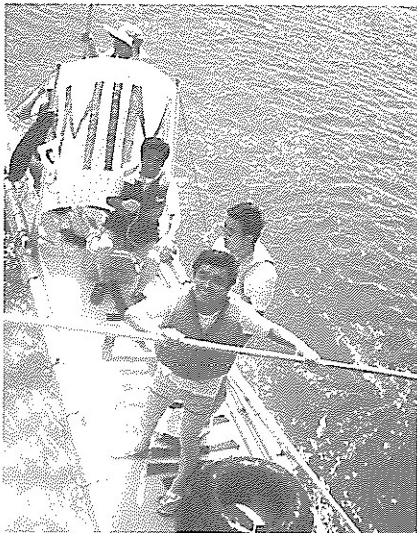
森 西 博 昭

青年会議所の皆様、益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。美馬青年会議所が名実ともに社団法人美馬青年会議所として独り立ちした思いがいたします。OBとして心からお慶び申し上げます。

今、青年会議所時代7年間を思い出しますと、まず30才代の我青春は何事にも優先して情熱をもってとりくんだ各種活動に、我ながら元気だったなあと感慨一しおのものがあります。

無我夢中でとりくんだ創立総会までの設立準備のこと、承認書伝達式についての定款づくり、役員選出方法と定款問題で夜を徹して激論したこと、社団法人格を取得すること、会費の銀行引落しのこと、すもう大会開催のこと、LOVE吉野川のいかだ下り、ブロック会長大会の開催、美馬フォラソンのこと等、その時々メンバーの顔を思い出し、本当に青年会議所活動を卒業までの7年間、精一杯頑張ったという自負と多くの県内メンバーと知りあえたことを誇りに思います。

現役メンバー諸兄、2度とない20~30才代、思いのままに精一杯頑張ってください。これを機に、内部の充実と社会的な貢献にコンセンサスのある哲学をもって「社団法人」の名に恥じない素晴らしい活動を一丸となって展開していただきたい、そして、英知を集結し快適な地域社会の創造におおいなる足跡を残してほしいと思います。



スナップ写真は順不同です。

(社)美馬青年会議所 1987年度所信表明

美馬J Cも設立以来5ヶ月を経過しました。

この間、先輩理事長各位のご指導とメンバー各位の御協力により、J C内部の結束、親睦はもちろんのこと地域社会においての美馬J Cの存在を対外的に認識せしめ貢献して参りました。

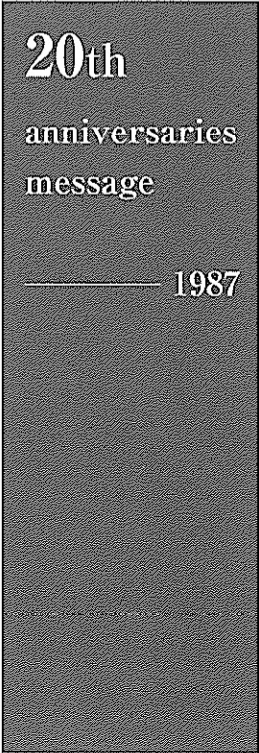
私達はこの5年間の貴重な足跡を土台として地域社会の活性化に向けて、具体的プランと強力な行動力をもって“ふるさと創造”をはかる必要があります。幸いにも美馬J Cは単一の行政圏を越えて美馬郡内各町よりメンバーが参集しており広域行政圏にわたる団体として、またこれからのふるさとを考えるに当たって単一町村ではむずかしい諸問題を広い目で眺めながら新しい社会を思い描くことが可能なのではないのでしょうか。

今、私達J Cに望まれるのは、長期のビジョンの中で社会に根付く中核としてまたプランナーとして機能していくことであると考えます。

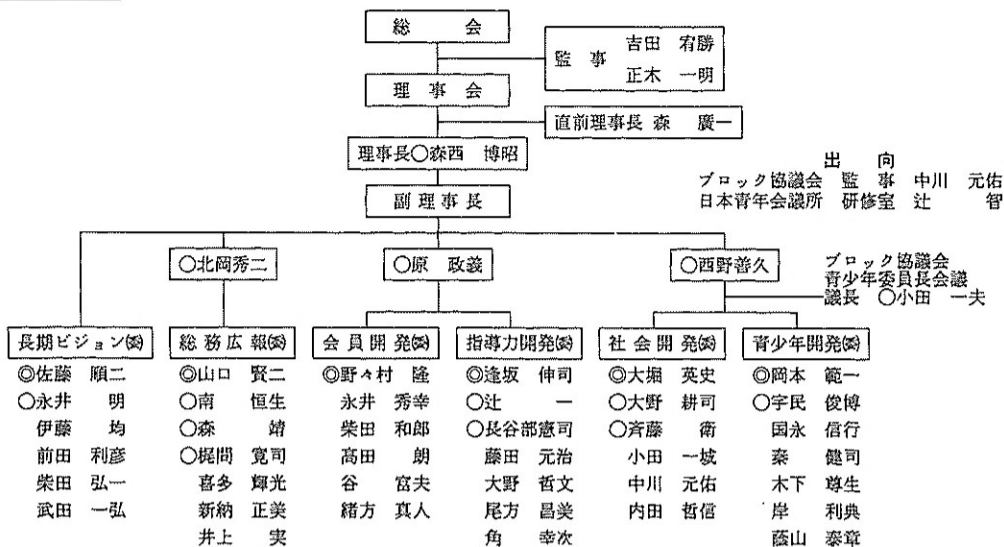
6年目の美馬J Cは役に立つJ Cを目指して第一歩を踏み出す重要な年であります。そのためにも役に立つJ Cとは…魅力あるJ Cとは…の観点から郡内各町村の抱える諸問題を基に十分な討議と意見交換を行い10周年に向けてのJ C内のコンセンサス作りを計る必要があると思います。

微力ではありますが会員各位の御協力を賜り明るく豊かな魅力ある地域社会の創造のための推進役として機能できるよう頑張る覚悟でございます。

会員各位の旧倍のご指導御協力をお願い致します。



1987年度組織図



祝 辞



(社)美馬青年会議所
1988年度第7代理事長

原 政 義

美馬青年会議所20周年おめでとうございます。

この20年間のうちに、私達を取り巻く情勢も大きく変わりつつあります。英知、勇気、情熱を持ち、力を寄せ合い、心豊かな社会づくりに貢献しようと友と共にひたむきに活動した日々、自分自身も熱く燃えていました。

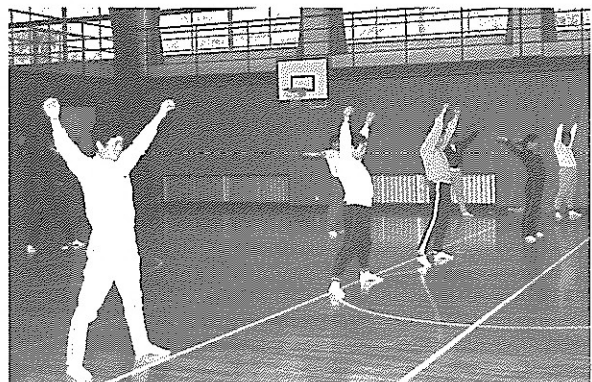
そこでまた、月日の流れを感じます。

10年前より日本の経済状態も益々と厳しくなり、現在少しは落ち着いては来たものの、人々は将来に不安を感じ、まだ揺れ動いている昨今です。GNPも1人当たりの所得も伸び悩み、銀行や証券会社の破綻が相次ぐ中で、日本を震源地とする世界金融不安さえ懸念された時が有り、その後日本の不動産価格は下落を続け、不動産を担保にして巨額の融資を行っていた銀行、信用組合、保険会社等では膨大な不良債権が経営を圧迫して、それを補填するために税からの公的資金投入という手段で、日本国民全体が企業の経営失敗を担う事となり、現在に至っても、まだそんな状況がくすぶり、世情不安の原因となっているのは御存知の通りです。

会員の中にも、多かれ少なかれ厳しい状況の中でのJ C活動を余儀なくされている方もいるだろうと思われます。しかし、社会が少しでも明るい情報を求めて揺れ動いている昨今、こんな時こそJ C会員も、派手な人集めパフォーマンスのみを考えるのではなく、力を寄せ合いJ C活動の質の向上へと進めて行かなければなりません。

その時代に沿った、その時代のJ C活動も20周年を迎えての力強い礎となる事でしょう。

美馬J Cの御発展を心より御期待申し上げます。



スナップ写真は順不同です。

(社)美馬青年会議所 1988年度所信表明

20th
anniversaries
message

1988

図らずも、次年度理事長という大役に御指命頂いた訳ですが、私のような者に一体何が出来るのか、果たして先輩理事長諸氏のように、1年間無事に努めることが出来るのだろうかと甚だ心もとなく思っております。しかし、このような私のJ C生活を振り返ってみると、ただ1つだけ胸を張れることがあります。それは、昨年(1986)9月3日の100%例会でした。

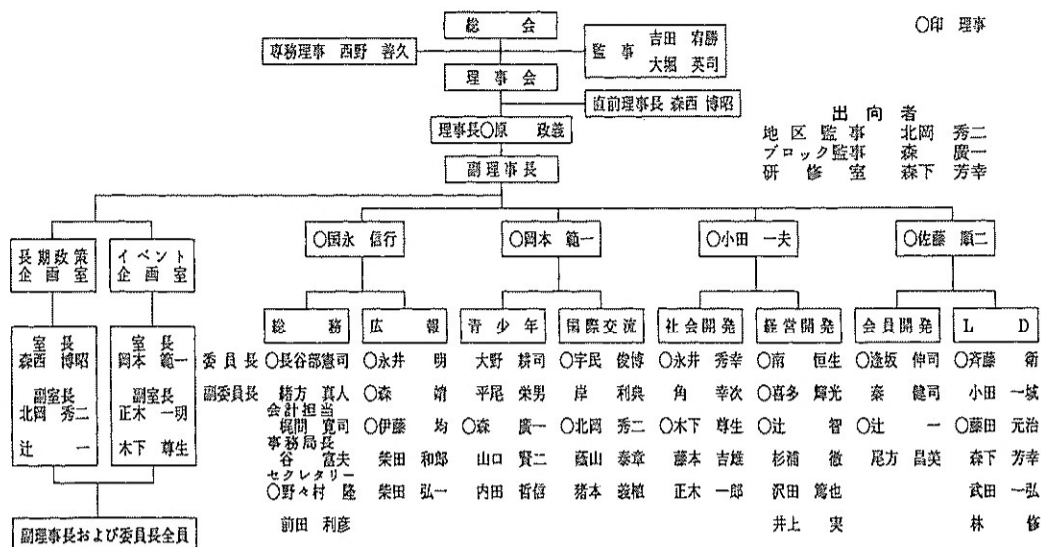
当時の河村日本J C会頭の「9月3日に全国で100%例会を」の呼びかけに、我がL O Mでも森理事長と共に5年目にして初の100%例会を達成することが出来ました。

今でも、ご協力頂いたメンバー諸兄に深く感謝すると共に、どんな困難な目標に対しても、『英知』と『勇氣』と『情熱』をもって懸命に努力すれば、必ず達成出来る。そして、その努力が『友情』に『奉仕』に『修練』につながるのだということを確認出来たという意味において、私のJ C生活の中で最も大きな出来事でした。

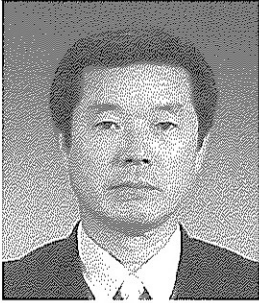
私は、この外にもJ C活動を通じて多くの友人と知り合い、修練を積み、人間的にも少しは成長することが出来たのではないかと考えています。

私に、この素晴らしい機会を与えてくれた美馬J Cを、もっともっと充実したものにして、後輩会員の皆さんに引き継いで行くことを、残り少ないJ C生活の目標にしたいと思い、理事長という大役をお請けした次第です。

1988年度組織図



祝 辞



(社)美馬青年会議所
1989年度第8代理事長

西野善久

20周年おめでとうございます。(社)阿波池田青年会議所のスポンサーのもと、第692号の認承番号を取得し、郡内50余名の同志が集い「美馬に風を！」の意気込みでスタートした当会議所に、草創期から関わる事が出来、また8代目の理事長を経験させて頂き感謝致しております。清々しい国家斉唱に始まり、JC宣言文、綱領唱和、また額に汗を流した各種事業等々を走馬灯のごとく脳裏を駆け巡っていきます。「英知と勇気と情熱」を合言葉に地域起こしを目標に一致団結し、時には激論を交わし、寝食を共にし、まさに昼夜問わず行動する青年の集団であったと記憶しています。

青年会議所活動は「明るい豊かな郷土づくり」であります。現在、我が国、我が地域の置かれている社会環境は実に厳しく、少子高齢化社会の問題、福祉、環境汚染、エネルギー、財政、教育問題等、数多くの問題が山積しているのが現状であります。それ故に万年青年である現役メンバーに対する期待は計り知れない程大きなものがあります。

当会議所が地域のオピニオンリーダーとして郷土愛を育み、可能性への果敢なる挑戦を期待し、益々の発展と諸兄の健康を祈念して御祝いの言葉と致します。



スナップ写真は順不同です。

(社)美馬青年会議所 1989年度所信表明

我が(社)美馬青年会議所は、(社)阿波池田青年会議所のスポンサーのもと、創立以来8年を迎えます。その間、大きな社会変化の中で地域社会にも認知される団体となろうとしています。諸先輩方の努力の結果であり、我々の誇りとするところであります。『明るい豊かな社会を築きあげよう』という綱領のもとに集う我々50余名の会員に共通するものは『青年』であるということです。そして、『青年』だけに共通するものは『行動力』であると思います。

21世紀に向かって愛される郷里づくりにメンバーの総意のもと、英知と、勇気と、情熱を傾注し、『美馬はひとつ』を基本テーマに置き、地域に根ざした行動力のある運動展開を図らねばならないと考えます。

基本方針

1. 会員の拡大と質的向上

J C活動に尽力された多数の先輩方の卒業を目前にし、また、10周年という大事業を控え、50%の会員拡大を目標に取り組みたいと思います。会員相互の信頼を、より密なものにするための事業展開。阿波時間の打破、例会、委員会への積極的参加等、個々のモラルに問いかけて、会員の質的向上を目指します。

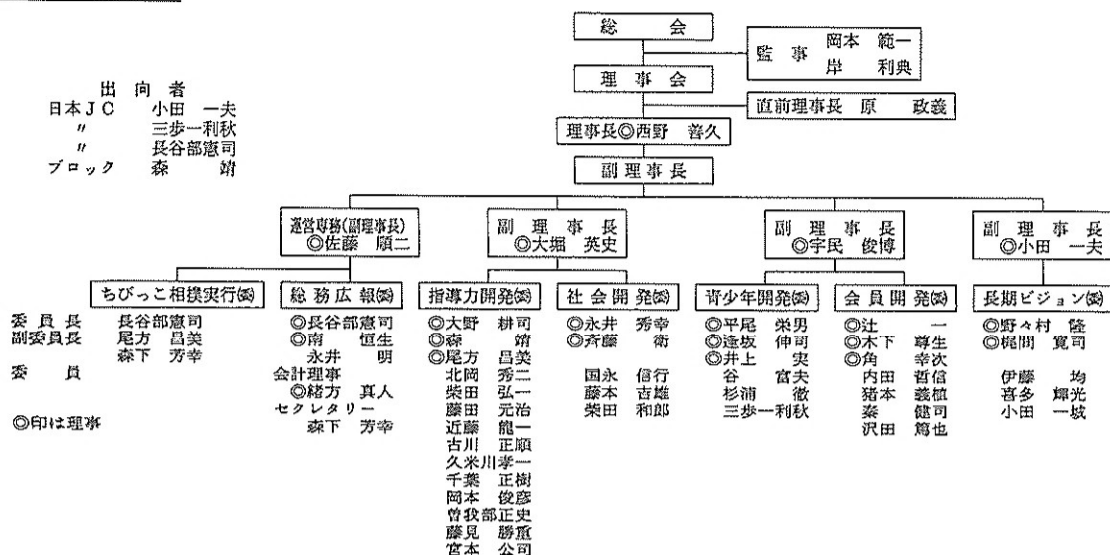
2. 委員会活動の活性化

J C運動は、委員会活動の集積であると思います。それぞれの明確な目標に向けて、一步一步着実に前進させ、各メンバーの責任ある活動により、充実した委員会活動を展開したいと思います。

ロム重点事業

1. 50%の会員拡大 (会員開発委員会)
2. 新入会員への研修の徹底 (指導力開発委員会)
3. ブロック新入会員オリエンテーションの主管 (指導力開発委員会)
4. 西部3ロム合同例会の主管 (会員開発委員会)
5. 地域の活性化に関する研究及び事業 (社会開発委員会)
6. 青少年の健全育成に関する事業 (社会開発委員会)
7. 10周年記念事業に関する研究及び企画立案 (長期ビジョン委員会)
8. 会員相互のネットワークの確立 (総務広報委員会)
9. 第8回美馬ちびっこ相撲大会の開催 (実行委員会)
10. 地区及びブロック事業への協力

1989年度組織図



祝 辞



(社)美馬青年会議所
1990年度第9代理事長

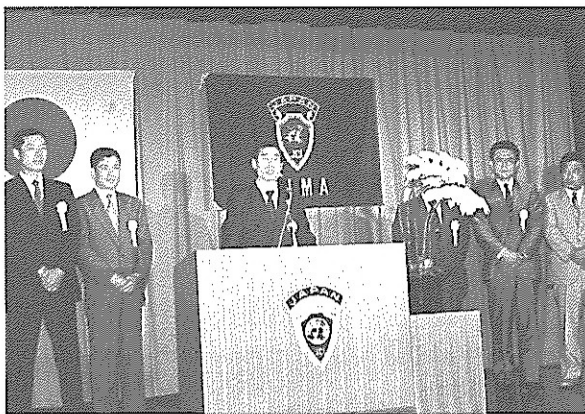
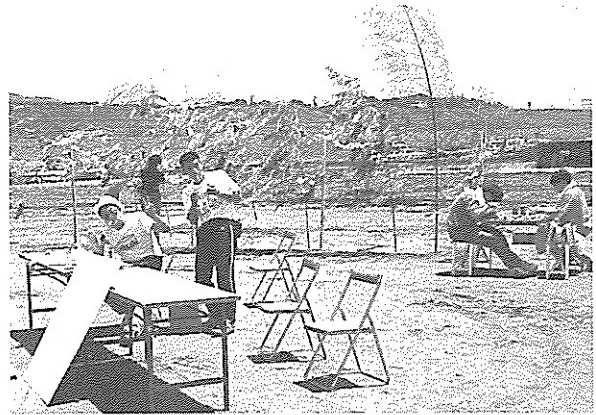
佐藤 順 二

美馬J Cの20周年心より御喜び申し上げます。

卒業して早や10年経ったのかという感じです。時代の大きな変化にJ Cの活動も、従来の視点と違った考え方で活動されているのだろうと思います。

今年、年初の新春互例会に出席させて頂きました。たしか1990年の私の初仕事として実施し、年頭の理事長挨拶は大変なプレッシャーで、仕事の行き帰り車の中で1週間声を出して練習した事を思い出しました。「1990年代の幕開けを飾る新年名刺交換会を開催しましたところ、郡内・・・」と、今でも思い浮かびます。前年、年末も近づいた頃メンバーみんなで「やらんか」の声、そして実施、J Cの活動に大きな成果があったと同時に自分自身を成長させ、その年の大きな弾みになったと思います。

閉塞感を感じさせる時代ではありますが、小さくとも一つ一つ事業をやり遂げること、種を蒔くこと、皆様の御活躍を心よりお祈り申し上げます。



スナップ写真は順不同です。

(社)美馬青年会議所 1990年度所信表明

20th
anniversaries
message

1990

ある動きが極端なところまで行くと反動が生まれる。それは『振子現象』と呼ばれる。

私達の地域社会は、戦後の経済復興・高度成長の中で、人口の都市への集中などにより、過疎が進み、地域の伝統的な慣習も大きな変化が現れた。振子は大きく揺れ、極に達したようである。近年の私達の運動は、振子を反対方向に動かす試みで、新しい地域づくりの試みであると思われる。

10年後に迎える新世紀にも美馬は魅力ある地域でなければならない。その為には私達の生活するこの美馬を、真に『自立』出来る地域につくりかえねばならないと考える。新世紀へ向けての「生き残り」ではなく、「真に自立した、個性的な、快適で活力ある地域づくり」こそ我々の活動の目標でなければならないと確信する。

私達は、美馬を自信に溢れる、そして次代に自慢のできる地域とするための新しいまちづくりに取り組みねばならない。それは地域の復権であり、私達は必ずおこる交通体系の大きな変化の次代に、そして高度情報化した次代に、地域が自立し、主張し、発信する美馬の地を想像し、つくりかえの実現へ向けてのアクションを起こす時はまさに『現在(いま)』しか無い。

『パワーアップ美馬、パワーアップ美馬J.C』

美馬青年会議所は来年度、10周年を迎えます。10周年記念事業をひかえて、地域のパワーアップの気概をこめながら、まずは、L O Mのパワーアップを図る必要があります。そのためには、積極的な対外事業の展開とL O Mの体質の強化、会員の資質の向上が重要なポイントになります。

10周年の記念事業は、今までの活動を振り返り、今後のJ C運動の方向を確認するうえで最も大切な事業であります。私達の運動は、美馬の新しいコミュニティの実現のための試みです。

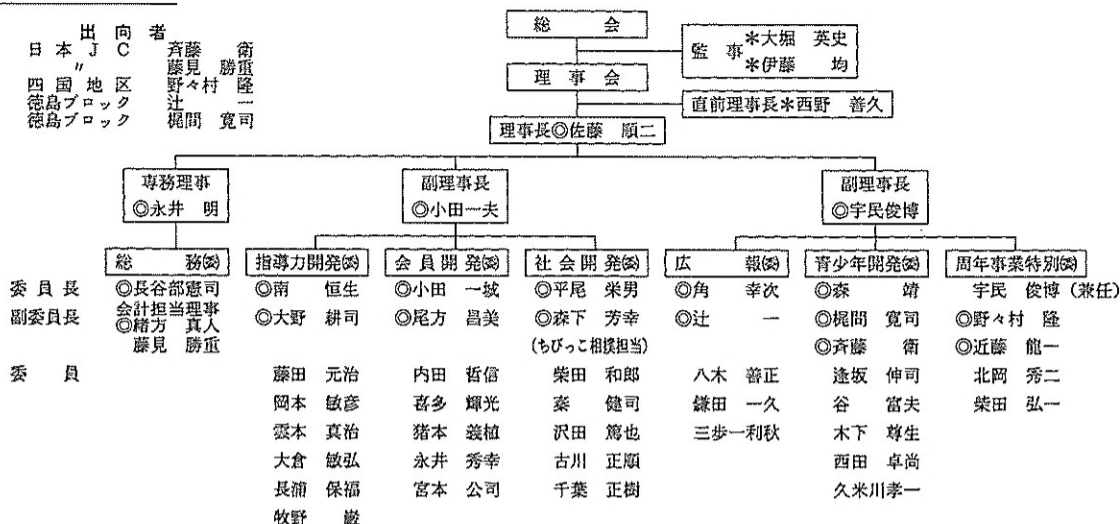
1. 積極的に地域づくりに参加し、事業の展開を図る。

1. 10周年記念事業の具体的準備にとりかかる。

1. 例会の活性化を図る。

最後に会員諸兄の御協力を心より御願ひ申し上げ、所信とします。

1990年度組織図



◎印は理事長、*印はその他の役員。各委員会最上段は委員長、総務以外の2~3段目は福委員長、指導力の破線より下は90年度新入会員(理事会承認済み)

祝 辞



(社)美馬青年会議所
1991年度第10代理事長

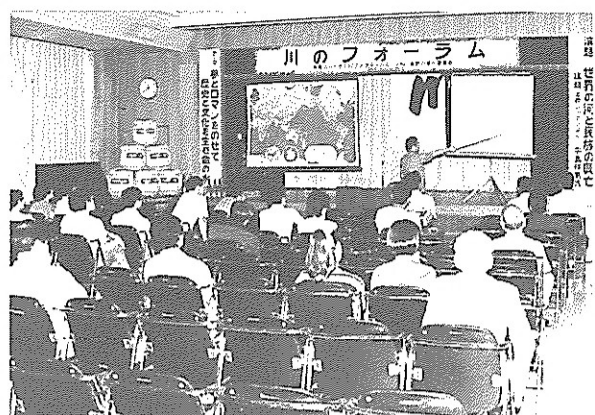
宇 民 俊 博

(社)美馬青年会議所が1981年に全国692番目の青年会議所として設立し本年でめでたく20周年を迎える事を心よりお慶び申し上げます。(社)阿波池田J.Cのスポンサーにより産声を上げ今年20周年を迎える事となり、社会的に今まで以上の責任を求められる青年会議所になりました。

10年前私は美馬郡をこれからどのようなまちにしていけばよいのか真剣に考え、日々地域活性化の為に努力して参りました。先ず初めに、文化的行事基盤として、住民に対し呼びかけて各種団体企業との交流を活発に行いました。これらの活動を通じて我々の考え方を御理解して頂く事に先ず視点を置くことにより、美馬郡がひとつになるという美馬市構想の根が出来上がったと思います。

現在あれから10年の月日が経ち、澤田理事長のもと市町村合併の企画が具体化してきている現状を嬉しく思う次第であります。美馬郡の改革の影にいつも私たちJ.Cの存在がある、そのような活動のできるJ.Cになればいいと思っている今日この頃です。

創立時の意思を引き継いだ若人が相集い英知と勇気と情熱を持って、明日の豊かな郷土を築くため、友情と奉仕の精神を基本に若者の鏡となり、美馬郡及び美馬J.Cを発展させていくことを心から期待申し上げます。



スナップ写真は順不同です。

(社)美馬青年会議所 1991年度所信表明

我々(社)美馬青年会議所は“霊峰剣山と四国三郎吉野川の間に広がる『美しい故郷美馬』”をテーマに(社)池田青年会議所のスポンサーにより、1981年9月6日、美馬郡内の青年50余名をチャーターメンバーに創立に、忘れもしない同年12月5日、東京において全国で692番目の承認番号をいただき、日本青年会議所のメンバーに仲間入りする事が出来ました。

そして、早いもので来る1991年には、創立10周年を迎える事になり、これも一重に先輩J Cメンバーを初めとして、関係諸団体及び地域の方々の暖かいご支援とご協力の賜物であると深く感謝しなければなりません。

この記念すべき年に、理事長としてご指名されたことは、身にあまる光栄であると同時に責任の重大さを痛感いたしております。

さて、今年の10周年記念事業の日程も、7月6日～7日に決定し、1991年度日本青年会議所のスローガン『ステキな風をあなたから創ろう町の物語』のもと、我が美馬青年会議所も一同で、20年～30年目の美馬J Cにつながる“新しい町づくり、故郷づくり”を私たちの力で築き上げていきたいと思っております。

『基本方針』

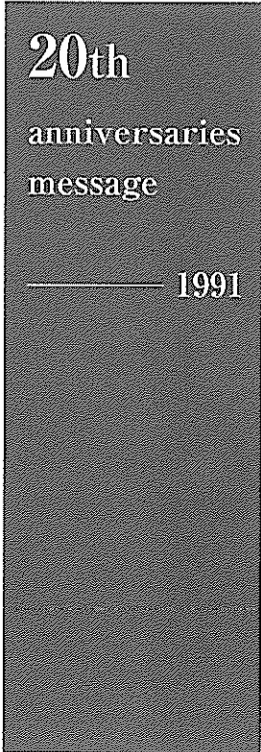
1. 霊峰剣山と四国三郎吉野川の間に広がる美しい故郷づくりの提言
2. 美馬郡内に千人収容出来る施設（文化センター）の必要性の提言運動
3. 心のうるおいの場所としての総合運動公園（野球場等）の必要性の提言運動

『スローガン』

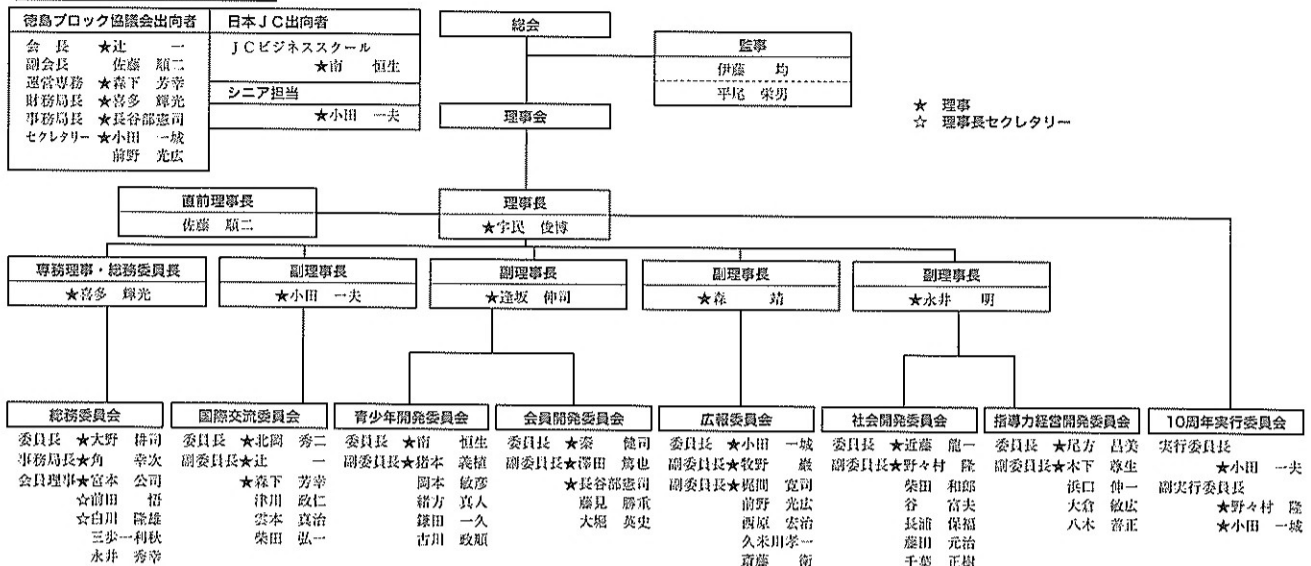
「1991 美馬の乱」

1991年度理事長としての力の限り頑張りますので、メンバー諸兄のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

“1991 美馬の乱 燃えます 燃えさせます 私たちの故郷 明日の美馬のために”



1991年度組織図





(社)美馬青年会議所
1992年度第11代理事長

小 田 一 夫

祝 辞

Congratulations Mima J C 20 th.

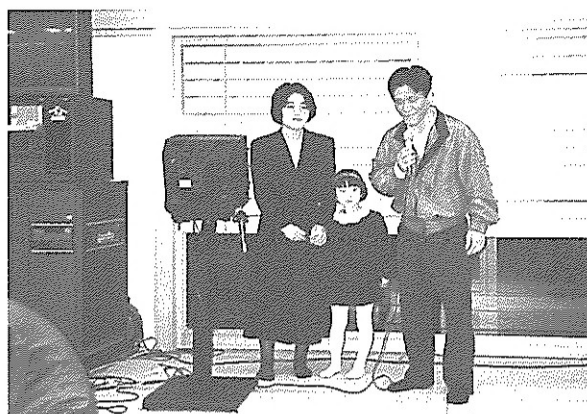
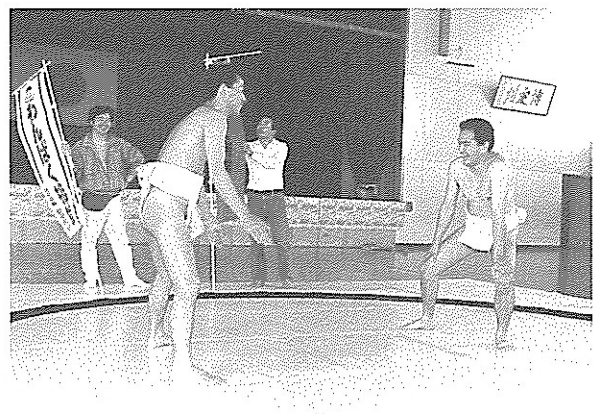
思い起こせばJ Cを卒業してはや8年になります。11代理事長を受け、時間とお金もたくさん使いましたが、それ以上の何かがあったと思わせるのは、良いJ Cの思い出が多く残っているからではなかろうか。

“出会いは感動” Communication Mima をキャッチフレーズに若さと情熱があったからか、1年間よく行動しました。御協力頂きましたメンバーの皆様方、本当にありがとうございました。当時は、美馬青年会議所メンバー数も50人を数え、国内の経済情勢においても上向きの時であり社会全体にエネルギーがありました。しかし、2001年現在はデフレに陥って、未だかつてないマイナス成長が続いています。時代は、行政改革、地方分権、市町村合併が叫ばれています。美馬J Cに於いては設立時より“美馬はひとつ”という理念のもと地域の活性化を目指してきました。これこそが町村合併の根本であると考えます。また、道州制も打ち出し四国州の発想もしていました。私が日本J Cに出向していた委員会「こんなものいらない運動」は、まさに地方分権、行政改革の源であったと確信しております。

これらの事が今、国・県・市町村に於いて進められています。

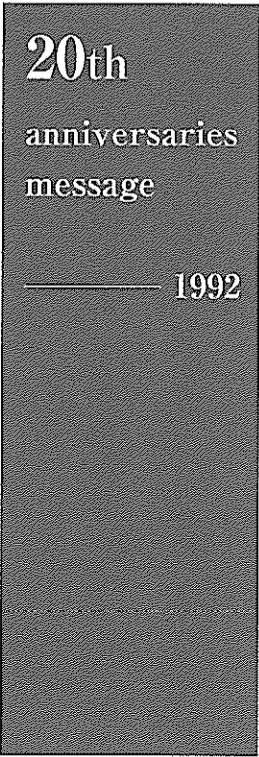
I T産業が発達しI Tの時代が来て文明、文化ともどんどん進んではいますが、やはり源は人間です。人間、人が作り出す物であります。

会員の皆さんの持てるパワーを出し惜しみすることなく、どんどん汗と知恵を出し頑張ってください。



スナップ写真は順不同です。

(社)美馬青年会議所 1992年度所信表明



私達、(社)美馬青年会議所も11年を迎えるにあたり、新しい飛躍をしなければならない。徳島県においても、四国縦貫自動車道の工事も進み、明石大橋の工事も進みつつある。「本四架橋」に代わるプロジェクトとして「第2国土軸構想」も出ている。東京から紀伊半島・四国を経て九州に至る新しい国土軸であり県の重要課題である。

美馬郡において重要な問題は過疎化ではなからうか。現在までJ C運動は“美馬は一つ”のテーマのもといろいろな事業を行って来た。美馬が一つになる為には、行政面においても一つに出来ないものであろうか。それが美馬市構想である。55,000人都市である。さまざまな弊害も起こって来るであろう。美馬市の構想は大きな夢として、その夢の実現の為に活発な運動を展開しなければならない。

美馬郡内を活性化させるために若者の代表として青年会議所が積極的に事業に取り組まなければいけない。それにより霊峰剣山と四国三郎吉野川流域に広がる美しい故郷が出来るのではなからうか。

基本理念

COMMUNICATION美馬

我がふるさと“美馬”について語り合おう。

明日の新しい町づくり、人づくり、故郷づくりの為に。

基本方針

出会いは感動

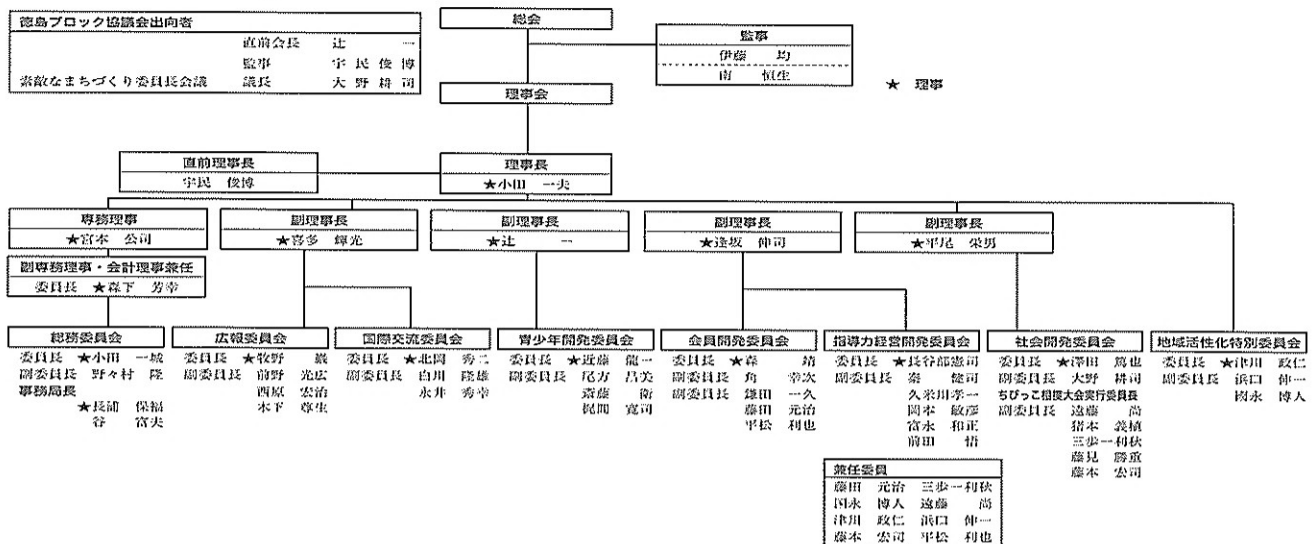
人との出会い。時との出会い。すべての出会いは感動から始まる。

美馬は一つ

美馬市構想実現に向けて

- ①地域活性化 —————(美馬リバーサイドフェスティバル in 吉野川)
- ②J C内外との積極的交流 —(郡内の青年部、青年団、行政、その他団体との対話)
- ③未来を担う青少年の育成 —(ちびっこ相撲大会、地球の詩、絵画、応援歌の募集)

1992年度組織図





(社)美馬青年会議所
1993年度第12代理事長

宮 本 公 司

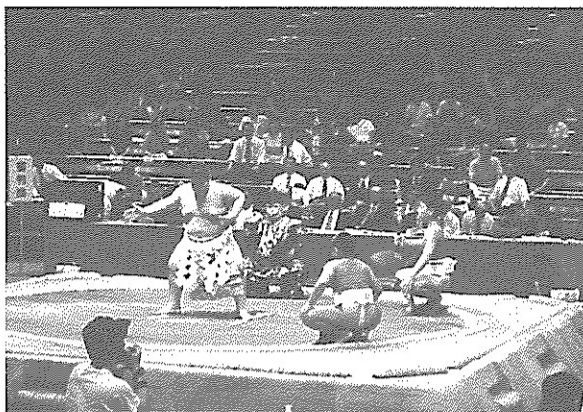
祝 辞

(社)美馬青年会議所の20周年を心よりお喜び申し上げます。

この20年間に多くのメンバーが集い、いろいろな事業を手掛けて、大きな成果を積み重ねられたことは、(社)美馬青年会議所の歴史となり、後に続くメンバーの財産となるものと思います。JCの特徴である学年度組織は多くのメンバーに活躍の場を作れるすばらしいものだと思っています。20年の歩みには、山や谷があり、派手な1年、地味な1年を支えた多くのメンバーに対し、敬意を表し、誇りを持って欲しいものです。1991年に10周年を終え、'92～'93年は、また新たな10年を作る再スタートの年だったと思います。93年は理事長の途中休会があり、当時のシニア会先輩方の配慮で東京JC O Bの林氏を招き、講演会を開催し、美馬JCの建て直しを図るべく御協力を頂いたことは、忘れられない思い出となっています。

最後になりましたが、今後も(社)美馬青年会議所の組織が若者の研鑽の場となり、美馬JCの新しい歴史を刻まれることを期待しています。

代筆 専務理事 長浦 保福



スナップ写真は順不同です。

(社)美馬青年会議所 1993年度所信表明

地球規模での自然破壊が、大きな問題になっている今、我が美馬においても、様々な問題が山積みされています。

真に豊かな生活とは何かを、もう1度、考えなければならない時代が来ています。便利な暮らしをすて、経済発展を止めることもできません。

明るい豊かな社会を築きあげていくうえにおいて、環境に配慮した経済発展を実施して行かなければ成りません。豊かな自然を、我々の子供たちに残すためにも、何が出来るか、何をしなければいけないかを、町で、企業で、家庭で、J.Cで、考えなければなりません。

我々、(社)美馬青年会議所設立当初からの夢である“美馬は一つ”の実現にむけて、さまざまな事業を行って来ました。これからも、夢の実現にむけて、さまざまな事業を通して、美馬郡内各種団体と交流を深め、美馬郡内55,000人が、語り合える環境づくりをして行きたいと思えます。

基本理念

WAR CRY

今、若き情熱をこめて

基本方針

語り合おう55,000未来の美馬

ひとづくり、ネットワークづくり

我がふるさと美馬づくり

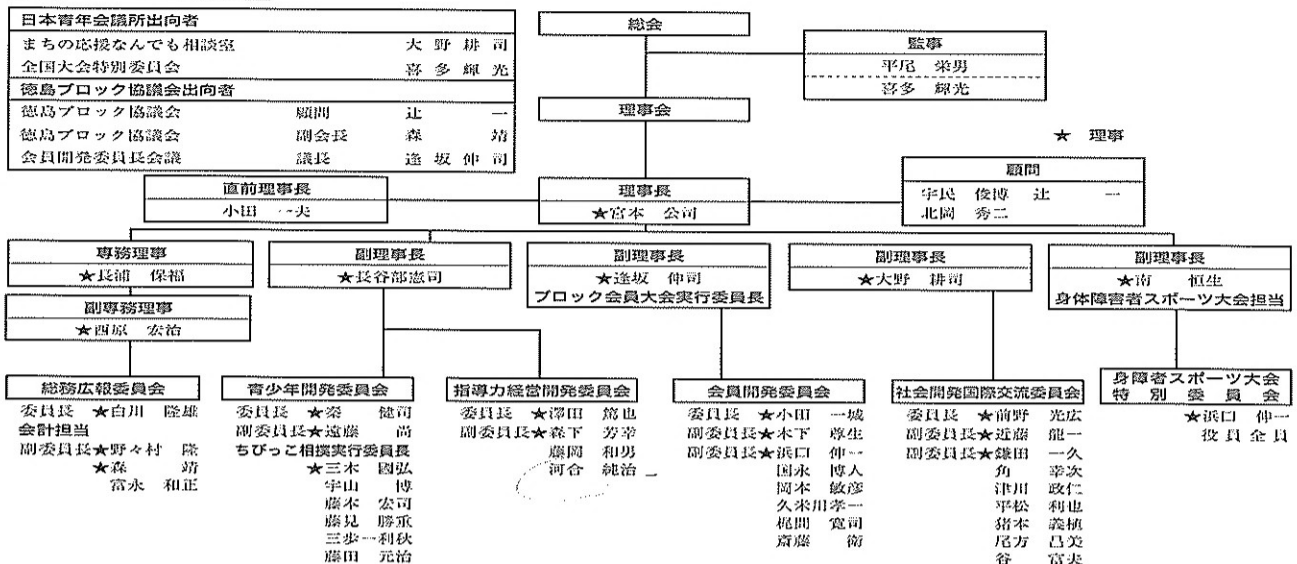
第20回ブロック会員大会の成功

第29回身体障害者スポーツ大会後夜祭の支援

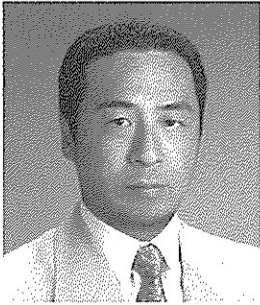
20th
anniversaries
message

1993

1993年度組織図



祝 辞



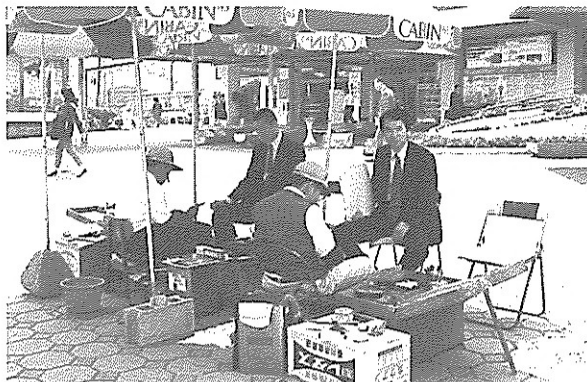
(社)美馬青年会議所
1994年度第13代理事長

森 靖

(社)美馬青年会議所20周年おめでとうございます。

私が理事長をして、はや7年が経つのですね。当時、13代目ということで理事長をやらないかというお話を病室で聞きました。13年目のこの年は、皆さんがよく知っているちびっこ相撲を県大会にする・しない議案がありました。難しい問題でした。当時、ちびっこ相撲は山の学校の子ども1人でも参加できるスポーツとして、青少年育成事業に美馬青年会議所は取り組んできました。しかし、出場できる子どもは、美馬郡内という制限つきでしたが、相撲ブーム(若貴兄弟)でもあり、よく郡外の父兄から投書され、「なぜ出場できないのか」「なぜ美馬でやるのか」などの問題がだされました。いろいろな説明をしても分かってもらえない。予算も多くとってしまう。たくさんの諸問題を当時かかえていました。最初に諸先輩方が行った頃は、美馬郡内小学校の校庭の片隅に、手作りの土俵を作り、会場周辺には会員(メンバー)の企業協賛ののぼりを100本~200本立て、4年、5年、6年、それぞれ150名くらいの選手が集まり盛大でありました。朝早くから夕方まで手に汗にぎる子どもの熱戦に感動し、汗だくになって夢中でやっていました。そのことを思い出し、青少年育成に地域限定をやめ、県大会にしたことをつい先日のように思い浮かびます。

現在もちびっこ相撲は、美馬の伝統として残り、わんぱく相撲(東京大会)よりも歴史がある行事です。現在の会員は知らないかもしれませんね。ちびっこ相撲で優勝し、全国大会でも優勝(3年連続)した子どももいました。負けてくやしくて、目を真っ赤にした子どももいました。感動するものが今では少なくなっています。どうか、現会員の皆様には、伝統を守り、気持ちを結集して、素晴らしい美馬青年会議所になりますよう、こころより願っております。



スナップ写真は順不同です。

(社)美馬青年会議所 1994年度所信表明

20th
anniversaries
message

1994

社団法人美馬青年会議所が、1981年に、全国で692番目の青年会議所として設立されてから、はや13年の時が経ちました。私達は、美馬郡内の、志を同じくする青年が、“美馬は一つ”の合言葉のもとに、明るい豊かな社会づくりを目指し、集い〔美馬青年会議所〕という組織が誕生しました。そして私達は、J Cの三原則である、“TRAINING（個人の修練）、SERVICE（社会への奉仕）、FRIENDSHIP（世界との友情）”を守り、活動して参りました。

徳島にもようやく高速道路が走り、関西新空港、明石大橋が現実のものとなりつつある今、私達は、大いなる行動力で、近未来の21世紀に向かって、愛される郷土づくりの為に、メンバーひとりひとりの総意のもと、英知と、勇気と、情熱をもって、地球に根ざした運動を展開していくことが必要です。私自身も悔いのない1年となる様、力一杯努力いたしますので、会員各位の倍旧の御指導、並びに、御協力を、心からお願いして、所信といたします。

基本理念

HEART In ハート

(熱き心に感動を…)

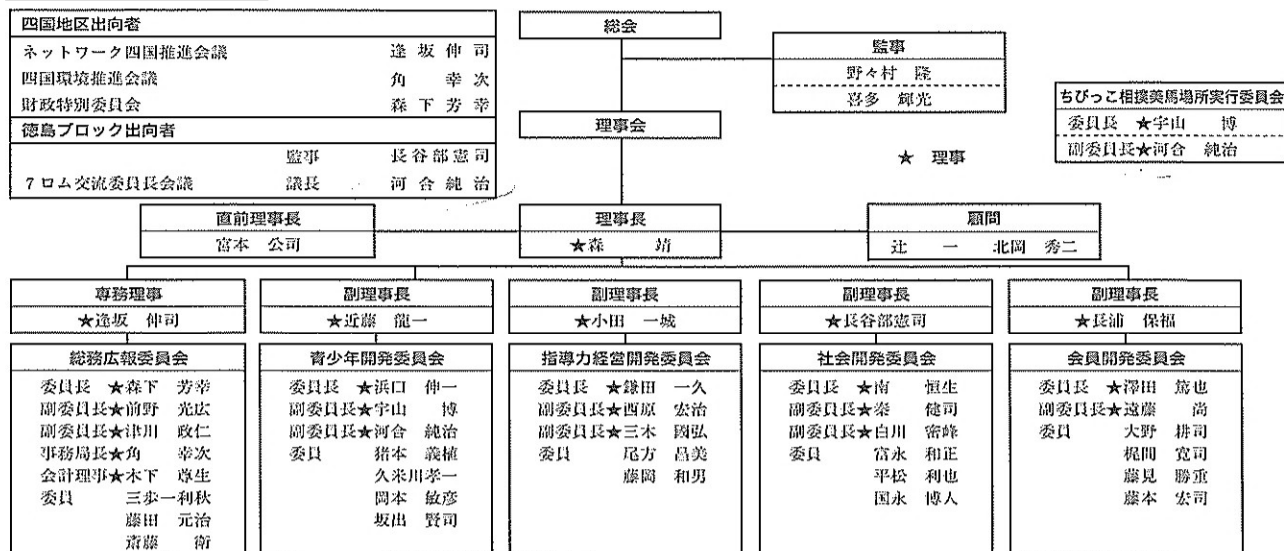
今までの大きな事業を思い出してください。汗を流し、涙を流し、熱いものが、胸にこみあげたことが、何度となくあったと思います。

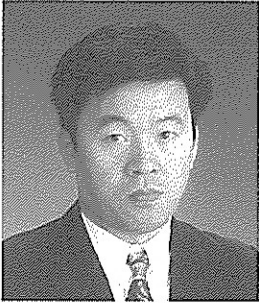
その時の感動を思いおこして、共に頑張りましょう。

基本方針

1. 委員会の活性化
 1. 青少年育成事業の推進
 1. 会員相互のネットワークの確立
 1. ちびっこ相撲美馬場所の開催
 1. 地域の活性化に関する研究および事業
 1. 会員拡大と研修体制の強化
 1. 地区、ブロック参加支援

1994年度組織図





(社)美馬青年会議所
1995年度第14代理事長

南 恒 生

祝 辞

社団法人美馬青年会議所創立20周年おめでとうございます。

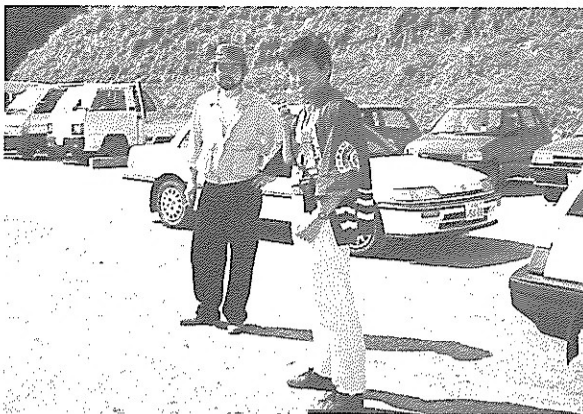
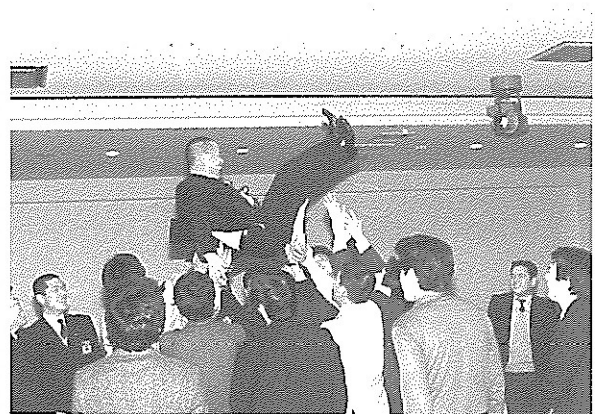
1995年というと阪神淡路大震災の年。会頭のご子息を含め5,000余名が亡くなり、本当に痛ましい災害でありましたが、全国のJ Cマンが震災直後から神戸周辺でのボランティア活動に精を出し、そのスピード・企画力・指導力・動員力で、他のいかなる団体をも凌ぐパワーを見せつけ、J Cの評価を引き上げた年でありました。

そういう中で特に四国地区のJ Cメンバーの活躍は特筆されるほどのものでしたし、美馬においては、J C以外の団体でも役に就いている者も多数いる中、ボランティアの活動においてもダブル・トリプルで活躍した猛者もいました。

また、恒例のちびっ子相撲大会では、後に全国わんぱく相撲大会で3連勝した太田 剛希君が小学2年生でありながら（出場審査をかいぐって？）4年生の部に出場して優勝しました。

それから、私的なことではありますが、（震災のため開催日変更になった）京都会議の日に結婚式を挙げました。

最後になりましたが、美馬青年会議所の益々の御発展を祈念いたしまして御祝いの言葉と変えさせていただきます。



スナップ写真は順不同です。

(社)美馬青年会議所 1995年度所信表明

20th
anniversaries
message

1995

最近、規制緩和という言葉をよく聞きます。JCにおいてもこんなもの要らないと規制緩和を永年訴えてきました。そして、徐々にではありますが規制緩和は進みつつあるようです。規制緩和という言葉が流行語のように交わされ、いいことづくめのような印象でとらえられている面があります。しかし、我々にとって、規制緩和は両刃の剣であり対応を誤れば企業存続の危機を迎えることとなります。

そこで、先ず第一に「ためになるJC」として経営研修や指導力研修をLOMをあげて全員参加で取り組み、企業人として、ジェイシーマンとしてレベルアップしなければなりません。例会に研修の時間を充分とり入れ、全員が発言や体験を出来るようにして、①例会を面白くし②連帯感を高め③レベルアップする。一石三鳥を狙います。

そうやって、レベルアップした人物は、それぞれの企業の繁栄を通して地域に貢献でき、また、自らが直接に街づくりの推進役として活躍する事が出来るでしょう。昨今リサイクル商品が話題となっていますが、品質の割に値段が高いのが普及の障害と思えます。その原因の1つは流通量が少ないせいなので、割高な商品と知った上で率先して使用する事は、将来の地球環境を考えた行動と呼べ、そういう事が出来る人や企業になりましょう。

LOMが出来る人間の集団になってさらに発展する団体になるよう、メンバー全員で精一杯努力しましょう。

余談

美馬ちびっこ相撲が昨年郡外の小学生にもオープン化されました。1つの規制が無くなったのです。郡外から来た児童は、別の大会の優勝者であったり相撲クラブに入っていたりと強豪揃いです。将来そういう子供ばかりの大会になる可能性もあります。それでは美馬ちびっこ相撲の主旨から存続させる意味が無くなります。どうすればよいでしょうか？せっかくオープン化したのですから、郡外の普通の子供にできるだけ大勢来てもらって、美馬の子供たちとの交流の場として発展するように、PRし、相撲に負けた後も楽しめるような工夫をこらさなければと思っています。

基本理念

美馬を、地球を、真剣に愛し、真剣に考え、真剣に行動する

キャッチフレーズ

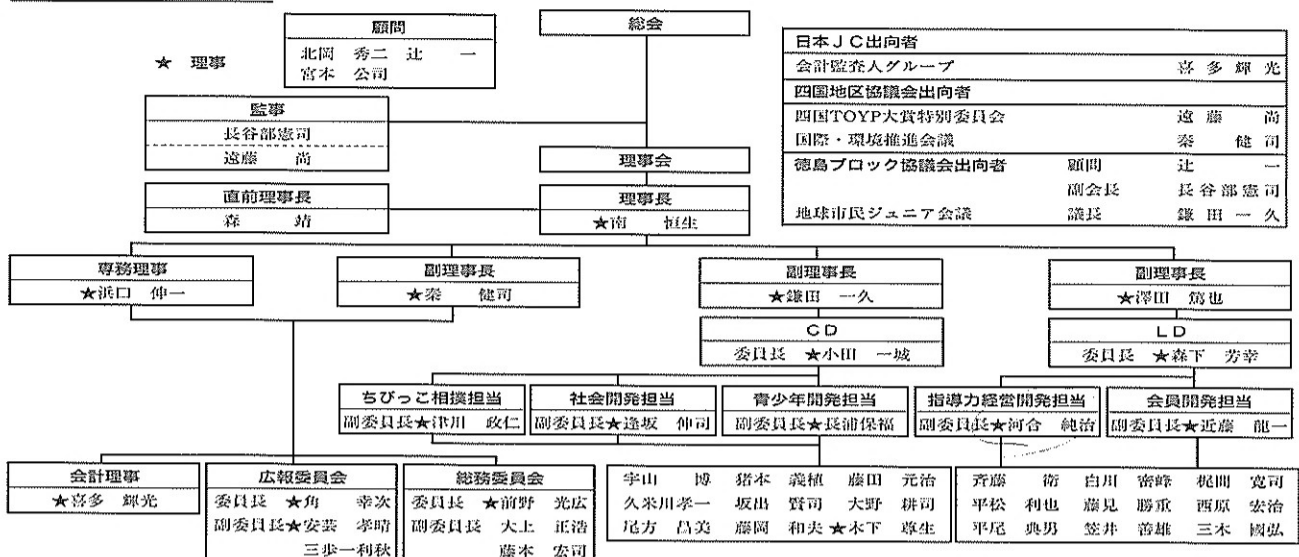
Positive Thinking and Action

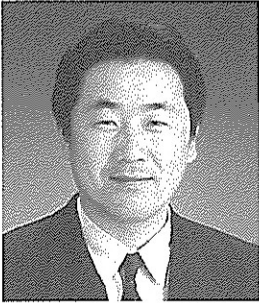
無限の可能性を求めて

基本方針

- 会員の拡大と研修の充実
例会で全員が発言し、自らを発信する。
- 切磋琢磨する委員会活動
一人のレベルアップが全体を触発しレベルアップする。
- 自然環境への配慮と調和
企業人として環境負荷の少なさを検討事項に採用する。

1995年度組織図





(社)美馬青年会議所
1996年度第15代理事長

小 田 一 城

祝 辞

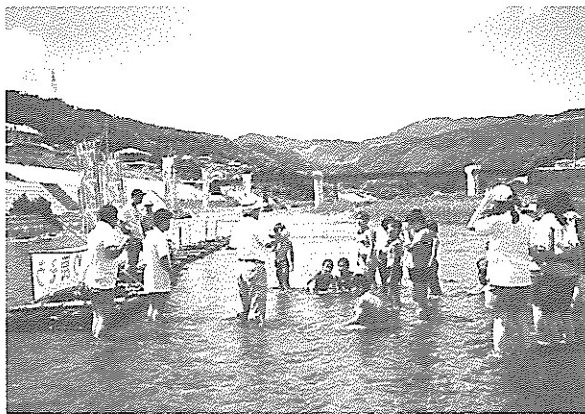
(社)美馬青年会議所設立20周年誠におめでとうございます。

光陰矢の如し、10周年記念誌に携わっていた頃をまるで昨日の事の様に思い出し、また、入会以来14年「義理と人情と浪花節」のJ.Cから「ソフトでスマート」なJ.Cに変革する節目の時代を過ごさせて頂いた気がします。

さて、命題の「当時の美馬青年会議所を振り返って」ですが96年当時は前年に未曾有の被害を出した阪神淡路大震災の影響もあり日本J.Cにも地域のコミュニティや人と人の絆を大切にしようという事業が組み込まれ、美馬J.Cでも震災によって心に障害を持った子供達を招待しリフレッシュキャンプを2泊3日で、公募したボランティアの方々と共に行いました。37℃を超える炎天下での穴吹川筏下りや悪天候でひやひやしながらの天文教室等、久しぶりにメンバー丸となって汗を流した事業になったように思います。そして、こどもたちの笑顔と共に味わった心地よい疲労感を今でも思い起こします。

また、設立以来続いて来た「ちびっこ相撲大会」も移管の方向が決まり美馬J.C主管での最後の大会となり、初めて優勝者が全員郡外の子供達になった事も複雑な思いとして心に残っています。振り返れば多くの思い出はありますが、様々な事業を成し得る事が出来たのも私ごとき不偏者を支えてくれた当時のメンバーのお陰だと今でも感謝しています。

最後になりましたが、これから支える君達が、地域の過疎や不況・メンバーの減少等山積した多くの問題にも、英知と勇気と情熱を持って豊かな美馬づくりに邁進してくれる事を願って筆を置きます。



スナップ写真は順不同です。

(社)美馬青年会議所 1996年度所信表明

20th
anniversaries
message

1996

世界は今、大きく変わろうとしています。それは、日本また、私たち美馬においても同じです。当然時代の流れと共に私たちJ Cも変革の能動者としての資質が問われています。そんな今だからこそちょっとだけ視点を変えてみると、地域や隣人とのコミュニティ、企業や家庭、また子供の教育などはもちろん、私たち美馬J Cにおいても良し悪しは別にして、問題点は山積していると思います。それらを勇気を持って素直な心で受け止め、緩やかにCHANGEしていくことが、今こそ必要ではないでしょうか。そして、何よりも1番に、私たち美馬J Cを変えてみようではありませんか。

本年は、38人のメンバーでのスタートとなりますが、J Cの常識と一般社会との常識の差をなくし、市民運動の一環としてのJ Cを自覚し、「1年1話の物語を、時代よりちょっと先に目を向けたまちづくりを提言する」そんな美馬J Cが、新たな鼓動を感じながら21世紀の美馬を、日本を、そして地球を考えCHANGEし、私たちをはじめ、美馬の地域、市民、そして行政が一体となり協力し合い、まちづくりを推進することが、永遠のテーマである「明るい豊かな社会」へ向けての、私達の15年目の目標だと思います。

基本理念

ちょっとだけCHANGE

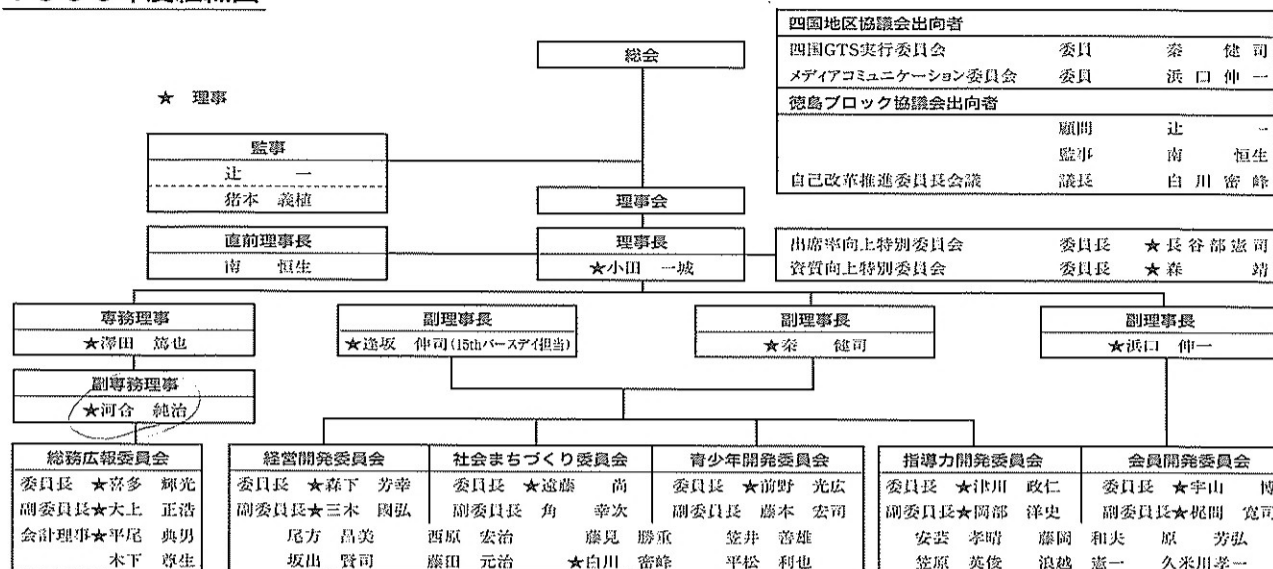
ちょっとだけ視点を変えて、美馬を、自分の企業や家庭を、またJ Cを見てみて考えましょう。

何か意外な発見があるはずです。そして、それらに今年1年ちょっとだけの時間をさいてみましょう。そんなちょっとした発見や、ちょっとだけの時間が、自分を、J Cを、そして、美馬を大きく変えるかもしれません。

基本方針

1. 会員の拡大
 1. 出席率を向上し、メンバー全員の負担を軽減
 1. 資質を向上し、自己改革の推進
 1. 美馬J C及び美馬のPR
 1. 徳島全国大会に向けての支援体制づくり

1996年度組織図





(社)美馬青年会議所
1997年度第16代理事長

逢坂伸司

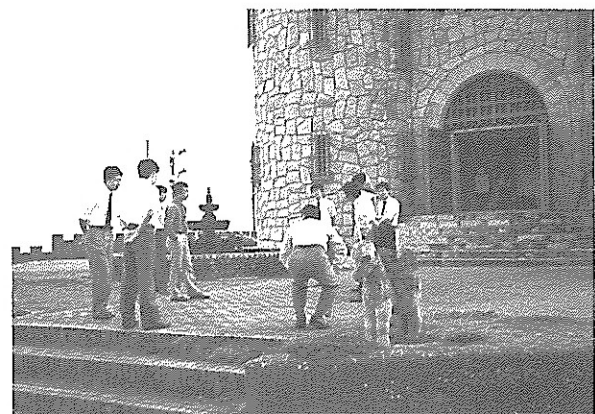
祝 辞

美馬青年会議所の創立20周年おめでとうございます。

私も卒業後、はや3年になりますが15年間美馬青年会議所のメンバーとして、素晴らしい先輩方や、たくましい大勢の仲間達と共に活動した頃が、まだ昨日の事のように思い出されます。

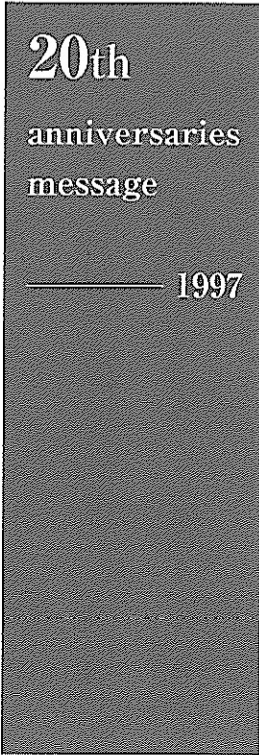
私が理事長を務めさせて頂いた97年は、翌年に控えた徳島全国大会に向けての活動が多くあった様に思います。そんな中で、澤田君の好意で土地と建物を貸して頂き、多くのメンバーの奉仕活動で現在の事務局を完成する事が出来ました。完成当日は、先輩方をはじめ県内各地青年会議所からお祝いに駆けつけて頂きました。餅つきとバーベキューで祝ったささやかな祝宴でしたが、美馬らしいアットホームないい雰囲気であったと覚えております。また、何といても青年会議所の良い所は、同じ年代の人達と私利私欲を離れたところで、自分たちが出来る事を企画、実行して行くところです。困難と思われる事を、若者らしい情熱と、多勢の英知によって、苦勞を共にしながら達成して行く充実感他物では経験できない貴重な物です。

今後とも、次代を担う若者が青年会議所という素晴らしい組織の中でのびのびと地域、国家、地球の事を考えながら、輝く人材として育って行く事を切望します。



スナップ写真は順不同です。

(社)美馬青年会議所 1997年度所信表明



(社)美馬青年会議所も4年後には創立20周年を迎えます。

創立以来、多くの人材を輩出し、当青年会議所は人材育成の面では、多大な貢献をしてきたと自負しております。しかしながら、昨今の日本をとりまく環境の激変によって、今、私たちの住む郷土美馬も大変革を迫られております。

いつの世でも激動の時代には、時代をひっぱり、信念に生きた青年達がいました。私たちもそういう先人達に見倣って自分を研ぎ、よりよい社会を築く力とならなければなりません。

これは、青年会議所の大きな使命であると考えます。

本年は、全国会員大会徳島大会の前年であり、将来に向かって、1歩1歩足固めをしていく年です。私は、美馬青年会議所の1997年度の基本理念に「基本に立ち返り、今一度、燃えてみよう Remember Your Heat Heart」ということを掲げました。

1997年は美馬青年会議所にとっては、新しい時代への土台作りの期間となるでしょう。

会員数を拡大し、会員相互の質を高め、より密度の濃いネットワークを構築する年です。

近い将来の激動を乗り切るために、本年は、1人1人のメンバーがパワーアップをして頂きたいと考えています。

基本理念

基本に立ちかえり、今一度、燃えてみよう

Remember Your Heat Heart

基本方針

1. 委員会活動の活性化

J C活動の基本であり、会員の質的向上がはかられ、会員相互の絆が太くなる

2. 会員数の拡大

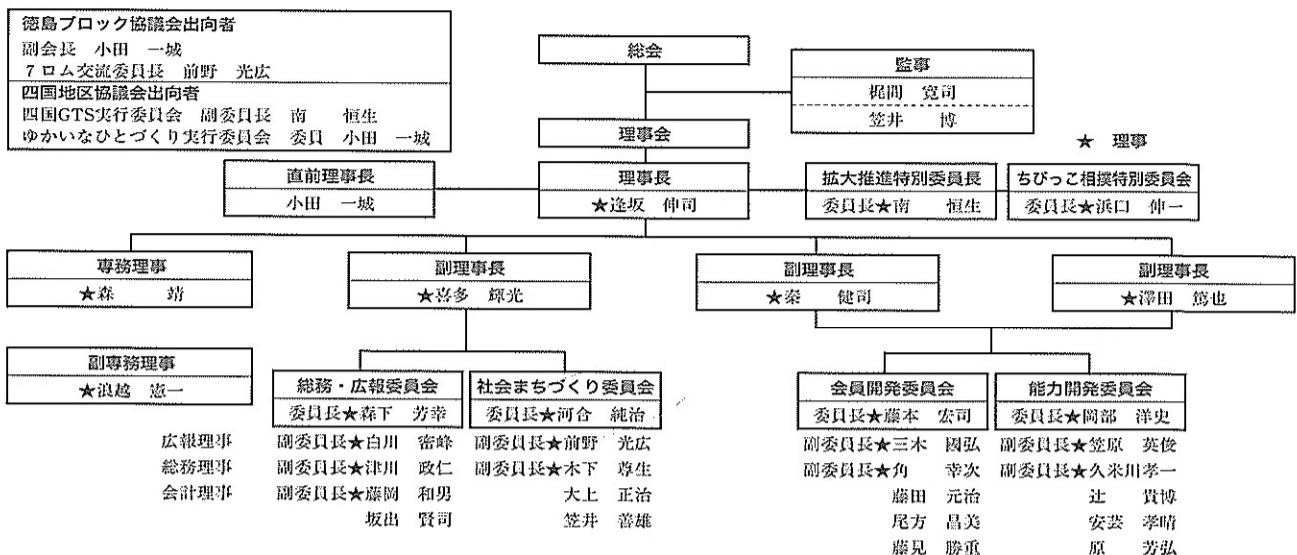
より大きなパワーの獲得と、新しい出会いを創りだす。

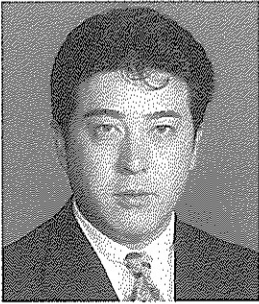
3. 魅力あるJ Cづくり

各人にとってJ Cが、より魅力あふれる存在になるよう、事業その他を構築する

4. 1998年全国会員大会徳島大会への協力

1997年度組織図





(社)美馬青年会議所
1998年度第17代理事長

秦 健 司

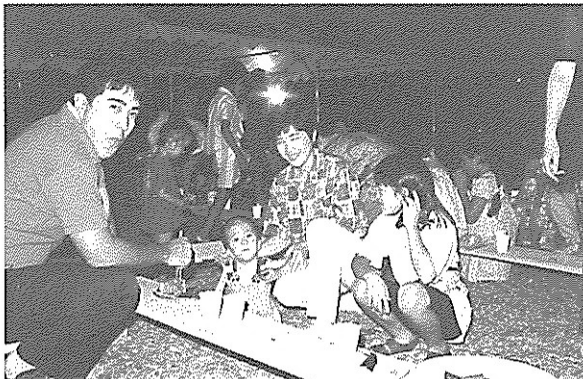
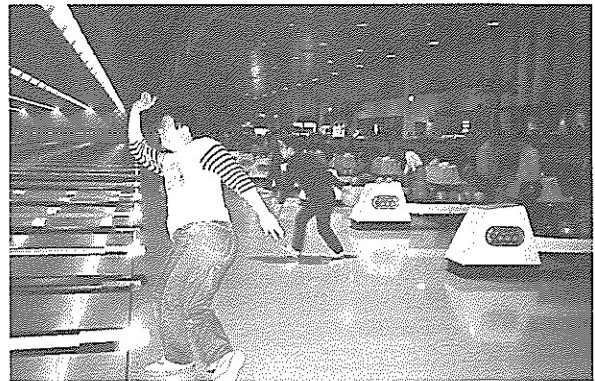
祝 辞

美馬青年会議所20周年おめでとうございます。

当時を振り返ってみますと、「J C、J C世界を結ぶ若き力」という歌の言葉通り、世界とは言いませんが日本全国のJ Cを相手に徳島全国大会という大イベントを徳島で開催した、その記念すべき1998年の四国地区徳島ブロック美馬青年会議所の理事長という大役を頂きJ Cという物は、見たり聞いたりする物ではなく、参加する、それも自分からやってみるという事が如何に大切で楽しい事か分かった年であります。

1997年逢坂理事長のもと次年度理事長という事で1月には京都会議、4月には南君と行ったG T S ベトナム、そして7月の横浜サマーカンファレンス、10月に行った熊本の全国大会、冬にはナホトカ号石油流出で福井まで行き竜巻に会うという理事長になる前の年から何と忙しい事か、しかし、やはり本番は、理事長になってからマカオでのA S P A C、そしてG T S ヴァヌアツ、徳島全国大会のP Rでは、なんと沖縄から北海道まで行き、ロム事業ではわんぱく相撲太田君の全国優勝、そして10月の大イベント徳島全国大会の開催など、この年の理事長にしか体験の出来ない事もたくさんありました。私を支えてくれたメンバーの皆様には大変感謝していたのもつかの間、全国大会の2日後にはなんと高知南国の水害で1週間ボランティア活動という忙しい1年間でした。しかし、それも今振り返って見ると先輩、後輩の皆様を支えられ卒業まで楽しく会議所活動が出来たのだと思います。

現役のメンバーの皆さんもお互いに力を合わせ積極的に事業に参加し、楽しみながらJ C活動をして頂きたいと思います。



スナップ写真は順不同です。

(社)美馬青年会議所 1998年度所信表明

20th
anniversaries
message

1998

西暦2000年に、残すところ2年となりました。そして本年、社団法人日本青年会議所の全国大会が、地元『徳島』にて開催されるということで、メンバーの皆様には多大なご協力をお願いしなければなりません。また、その中から生まれる大きな力によって、全国大会を成功させたいと思っています。

我々、美馬青年会議所は、年々メンバー数も減少の傾向にあります。しかし、多ければいいというわけではないと思っています。たとえ少数でも、各自が個人の立場、責任を自覚し、自分の殻に閉じこもることなく、人のよいところは尊重し、自分のできることを精一杯行える。そんなメンバーが1人でも多くいることのほうが大切だと信じています。また、自分もそういう1人になりたいと思っています。しかし、私1人の力はたかが知れています。メンバーの皆様の協力があってこそ、これからの美馬JC、徳島ブロック、四国地区、そして日本青年会議所を盛り立てていけるのではないのでしょうか。そして、未来のために、一緒に頑張ってください。

基本理念

Let's Begin!!

～未来のために～

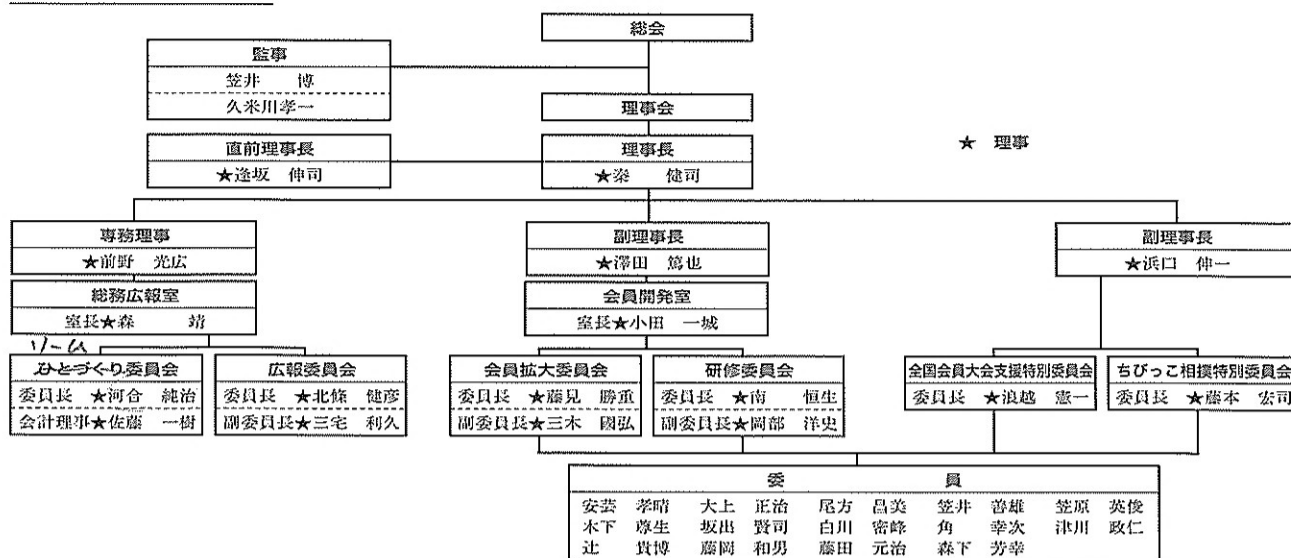
時の流れに流されないように、今この一瞬を一生懸命、そして自分にできる事を精一杯、自分のために、みんなのために、後に続く若者たちのために、そして、未来のために…。とにかくなにかを始めよう。

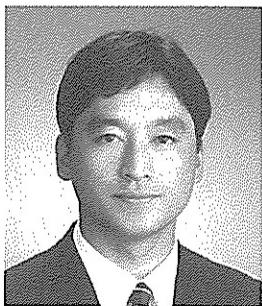
なにかを始めなければ、なにも起こらないのだから。

基本方針

1. 会員の拡大
1. メンバーの資質向上
1. 会員相互のネットワークの確立
1. ブロック、地区への参加支援
1. 全国会員大会 徳島大会への支援

1998年度組織図





(社)美馬青年会議所
1999年度第18代理事長

浜 口 伸 一

祝 辞

あの記憶に残る10周年事業からはや10年、現役メンバーとして20周年を迎えられることは、私自身感無量の喜びであります。先輩諸兄ならびに会員の皆様そしてこれまでご支援を賜りました関係各位の皆様にご心より感謝申し上げます。

さて、1999年は美馬J.C.にとって大きな節目の年になりました。明石海峡大橋の開通に伴い大勢の観光客が特にうだつの町並みを中心に美馬郡を訪れるようになり、地域経済としては、(まちづくり) = (観光事業) という視点の変化、また様々なNPO団体の出現によるJ.C.の存在意義の変化、合併措置法の制定により美馬郡の町村合併問題などを背景に、従来型の美馬J.C.の事業を根本的に考え直すべき時期でありました。

一方、美馬J.C.のメンバー数は年初で28名に激減し、南恒生四国地区長の輩出と同時に地区事務局も預かることになり、内外共に多忙な1年となりました。そんななか「HAND in HAND」をスローガンにメンバーが一丸となって様々な事業成果をあげることができました。美馬郡観光ネットワークの実現へむけての観光マップ作成事業、脇町共催の環境フォーラムの開催、美馬郡町村合併の研究会の発足、ちびっこ相撲全国大会太田君の3学年優勝、団体4位等々各分野で実績を残せたことに美馬J.C.として自信と誇りを持つことができたように思います。私個人にとっても、生涯忘れることのできない充実した1年となりました。

20周年を新たな契機として、美馬J.C.の更なる発展を御祈念申し上げます。



スナップ写真は順不同です。

(社)美馬青年会議所 1999年度所信表明

20th
anniversaries
message

1999

1999年、20世紀末の1年はどんな年になるのでしょうか。

振り返ってみれば、私たちの生きてきたこの四半世紀は、歴史的にも類のない程の発展を遂げた時期だったと思います。冷戦の終結による世界的な平和の獲得。日本経済の右肩上がりの発展により私たちの暮らしは豊かになり、誰でも、何でも買える、どこへでも行ける、非常に恵まれた環境のなかで育ち、そして、次世代の子供達を育ててきました。そんな温室育ちの私たちに21世紀を目前にした近年、様々な荒波が襲いかかってきました。深刻な不況による大企業の倒産、凶悪犯罪の増加等により将来の生活に対する不安を皆感じざるを得なくなってきました。

こんな行き先の見えない不透明な時代だからこそ、私たちJ.Cの存在意義があるのではないのでしょうか。地域に根差す若者の代表として、自覚と責任をもって政治、経済、教育といった様々な分野に積極的に関わりリードしていく、そんな志を持つようではありませんか！

我が美馬青年会議所は、今年で18年目を迎えます。20周年を目前にした今年、我々の仲間から南 恒生君が四国地区会長に選任されました。本四架橋3ルートが全線開通し、四国地区が内外共に注目される年に、四国の高速道路網の要とされる徳島県西部地区から四国地区会長が誕生する訳で、何か将来の地域発展を暗示しているような、そして美馬青年会議所にとっても誠に光栄なことであります。

『Hand In Hand!』今こそLOMメンバー全員が手を取り合い、協力して21世紀を明るい豊かな社会にしていこうではありませんか！

基本理念

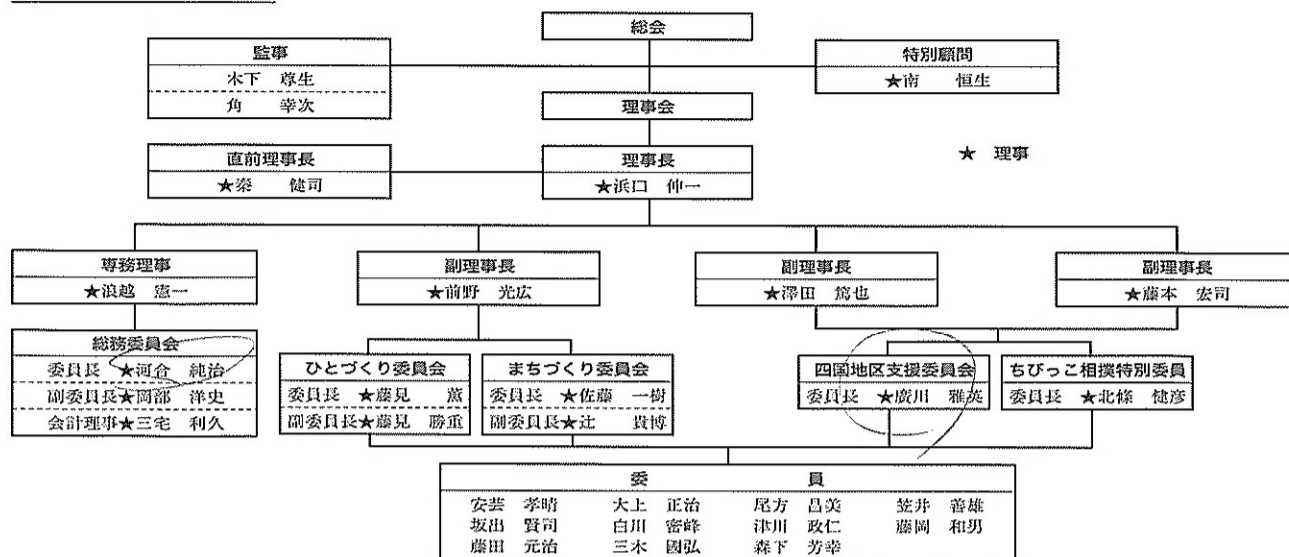
『Hand In Hand!』

自ら志を持ち、互いに手を取り合って夢を実現しよう！

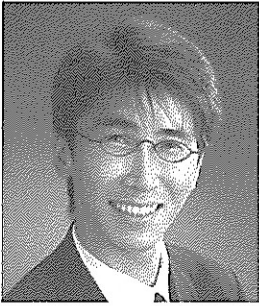
基本方針

1. まちづくりネットワークの企画・推進
J.Cのみならず地域住民と共に考え、行動するまちづくりを推進していこう。
1. ちびっこ相撲大会の支援
相撲を通して、子供たちに友情の輪を広げ、思いやりの心を育ませよう。
1. ひとつづくりの推進
積極的な会員の拡大と新入会員の指導力を高め、会員相互の親睦を深めよう。
1. 四国地区会長、南 恒生君の支援
LOM一丸となって四国地区の運営を支援しよう。

1999年度組織図



祝 辞



(社)美馬青年会議所
2000年度第19代理事長

前 野 光 広

早いもので、私が(社)美馬青年会議所に入会してから11年が経過しました。設立9年目に入会し10周年、20周年と2度もこの記念すべき節目を現役メンバーとして迎えられる事を感謝いたします。

さて、西暦2000年という20世紀最後、また(社)美馬青年会議所に於いては本年を迎えるに当たっての準備期間という重要な年に理事長という責任重大な役職を1年務めさせて頂きました。さらに西部3LOM合同例会主管、第27回ブロック会員大会主管、美馬郡観光マップ作成、ちびっこ相撲大会、家族会、市町村合併についての勉強会などたくさんの事業をやり遂げられたのもメンバー、OB、関係各位並びに諸団体、地域住民の皆様方の御理解、御協力あつての事と思います。本当にありがとうございました。

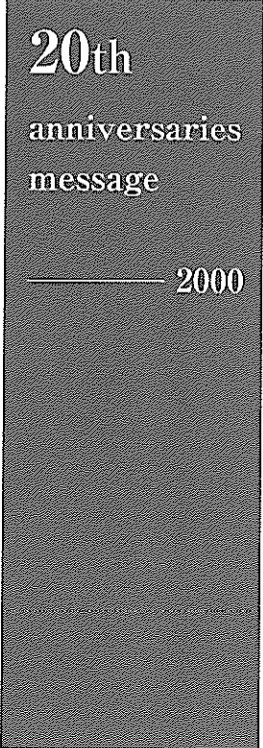
20世紀から21世紀へと時代は移り、今、市町村合併を始めとする地方自治問題、環境問題、教育問題などJ Cが地域社会と共に考えていかねばならない問題が山積しております。

諸先輩方が育ててきた『明るく豊かなまちづくり』という素晴らしい志を私たち「現在」のメンバーがより良い形で「未来」へバトンタッチできるよう祈念致しまして、御挨拶とさせていただきます。



スナップ写真は順不同です。

(社)美馬青年会議所 2000年度所信表明



1981年、今から19年前、美馬青年会議所は英知を結集し、勇気と情熱をもって行動した先輩達により創立されました。

奉仕、修練、友情の3本柱を糧として、活動してきた、私達の美馬JCも19年目に突入しようとしております。

西暦2000年、私達はこの新しい紀元年を青年として、JCマンとしてスタートできるのです。何か新しいことに向かってチャレンジできそうな気がしませんか！

一昨年、全国大会徳島大会、昨年は四国地区会長として南 恒生君の輩出と、美馬の地以外での活動が多く、メンバーの皆様には多大なるご理解、ご協力を賜り、本当に感謝しております。

本年は、美馬というこの素晴らしい、私達の守るべきものにスポットを当て、今一度、奉仕、修練、友情という原点を見つめ、活動してみませんか。

まちづくり、ひとづくり、まだまだ地域社会にも組織にも活動が十分反映されているとは言い切れません。チャーターメンバーも卒業され、創成期を知らない、いわば美馬JC第2世代である私達が今こそ、力を合わせ、未来の地域社会のための、未来の子供達のための「力の源」を創造していこうではありませんか。

志を同じうするもの同士で！

最後に、2000年は徳島ブロック会員大会主管、2001年は美馬JC創立20周年と、世紀末から新世紀にかけてメンバー全員で取り組んでいかなければならない大きなイベントが続きます。1人の力はたかが知れています。皆様の、ありったけの英知と勇気と情熱を結集し、美馬らしさをもって、成功させましょう。

基本理念

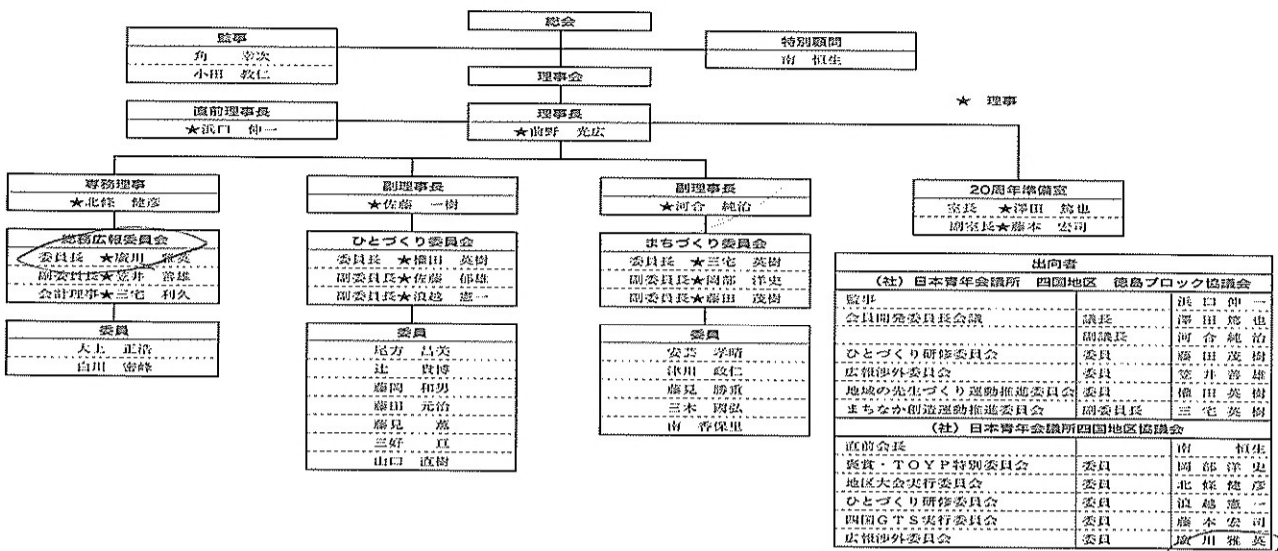
サイコウ 美馬

グローバルな観点を保ちながら、今一度、美馬という地域社会、またその中の美馬JCを再考し、豊かな社会の創造のために再行（動）し、より良い社会、組織が再構（築）できるよう、努力を惜しまず、活動してゆけば、最高の未来が見えてきませんか。共にがんばりましょう。

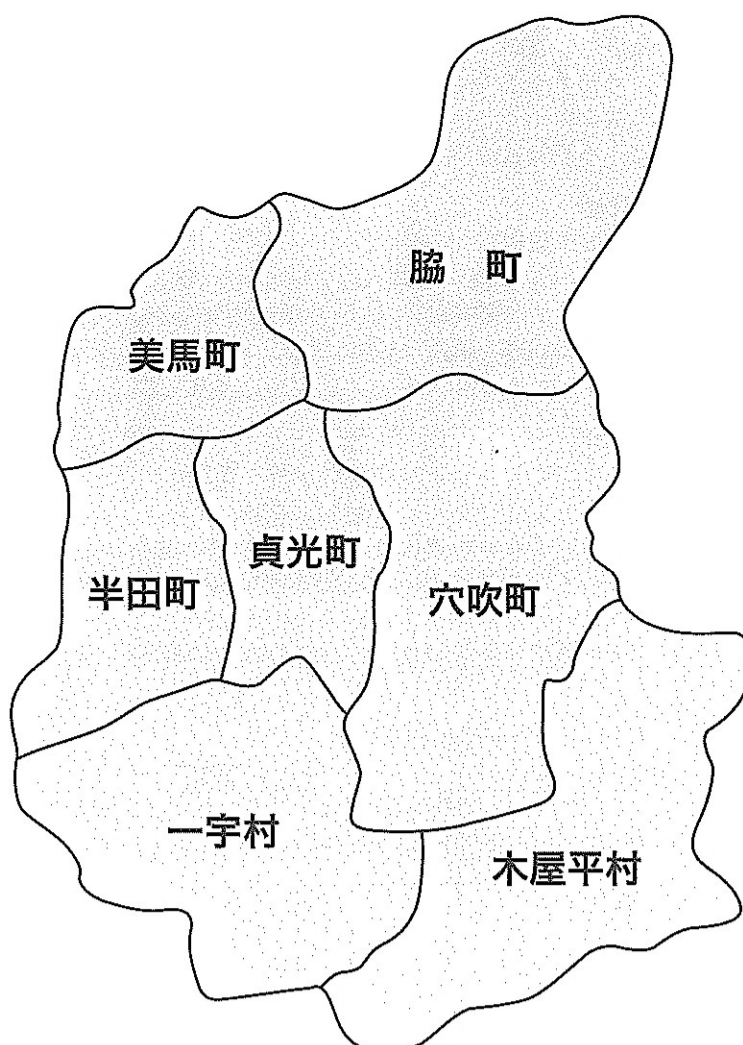
基本方針

1. まちづくりネットワークの企画・推進
1. 次代を担うひとづくり運動の推進
1. 積極的な会員の拡大及び、会員相互の親睦
1. 情報ネットワークによる効率的な組織運営の推進
1. 第27回徳島ブロック会員大会の成功
1. 長期的ビジョンに立ったLOM運営の推進

2000年度組織図



美馬JCエリア紹介



参照：「美馬ふるさと紀行」
「第四次美馬地区広域市町村圏計画」
協力：美馬地区広域行政組合

歴史とロマンの
うだつの城下町

脇 町
WAKIMACHI



脇 町

脇町は、県都徳島市から西方約40km、吉野川中流域北岸に位置し、東は阿波郡阿波町、北は讃岐山脈の山頂部で香川県長尾町、塩江町と接し、西は美馬町、南は吉野川を境として穴吹町と接しています。

地形は讃岐山脈の山地、同山麓の台地部、吉野川沿いの平地部に分かれています。本町の総面積111.09km²のうち、林野面積が72.6%で、耕地面積は10.1%となっています。

本町の交通は、吉野川に沿って主要地方道鳴門池田線が東西に走るとともに、南北には国道193号が通って、北は高松市と連結し、南は国道192号と交差しています。また、四国縦貫自動車道の脇町インターチェンジが設置され、県道鳴門池田線バイパスの整備などにより、徳島都市圏と四国西部、高松への結節的な地域核としての重要性が高まっています。

本町は、古くから撫養街道と讃岐街道の結節点という地の利を活かし、脇城の城下町が形成され、そして吉野川の水運を利用した阿波藍を扱う在郷の商人町として繁栄してきました。その中心地としていまに伝えるのが「うだつの町並み」で、昭和63年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。

今後のまちづくりの方向としては、「やさしさを共感できる住民起点のまちづくり」を基本目標とし、総合的な都市基盤及び生活関連社会資本の整備、地域福祉の充実と併せて、地域資源を活かしたまちづくりを推進します。

| | |
|---------------|--|
| 自然資源 | 夏子ダムと大滝山周辺、讃岐山脈、吉野川とその支流、別所の大楠、カスミサンショウ魚棲息地 |
| 観光・レクリエーション資源 | 小星公園、オデオン座、うだつの城下まつり、総合交流促進宿泊施設（美村が丘）、新町体育館、あんみつ館 |
| 歴史資源 | 脇町南町伝統的建造物群保存地区、デ・レーケ砂防公園、稲田墓所、旧長岡家住宅、貞真寺の山門、最明寺毘沙門天立像 |



うだつの町並み



うだつの城下まつり

古き良き自然美に
囲まれた文化の町

美馬町

M I M A



美馬町

美馬町は、県都徳島市から西方約50km、吉野川中流域北岸に位置しています。南は吉野川に接し、その対岸には貞光町、半田町があり、北は讃岐山脈の山頂で香川県と接し、東は脇町、西は三好郡三野町に接しています。

地形は、北の讃岐山脈から南へ山地、台地、扇状地、平地と順次展開し、山間部、中間部、平坦部に大別されます。総面積46.44km²のうち、林野面積が55.8%を占め、耕地面積は17.3%です。

本町の交通は、吉野川に沿って主要地方道鳴門池田線が東西に走るとともに、南北には国道438号及び主要地方道美馬塩江線があり、香川県に通じています。特に国道438号は三頭トンネルの開通により、坂出市経由で瀬戸大橋を経て岡山市に達します。また、四国縦貫自動車道の美馬インターチェンジが設置され、中国・近畿地方への交通利便性が飛躍的に向上しました。

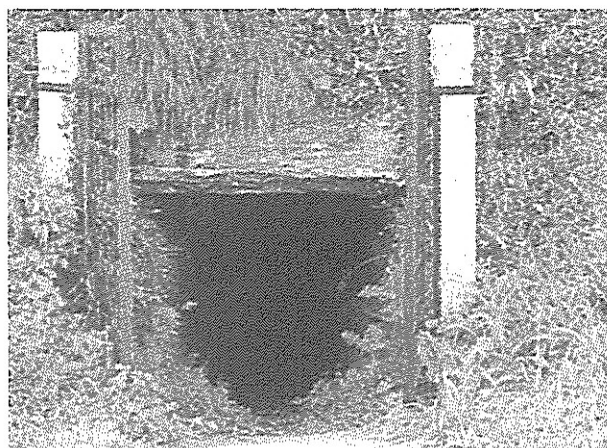
本町は四国一の大きさの「段の塚穴」古墳があり、また、「郡里」の地名にみられるように、大化改新により現在の美馬・三好地方を含んだ美馬郡の郡衛が置かれていたことから、かつては古代阿波西部の政治文化の中心地として飛躍的発展のあとを知ることができます。

今後のまちづくりの方向としては、「豊かな自然、笑顔輝く文化の町 美馬」を基本目標とし、高速交通網の整備を活かして、本町の豊かな自然に恵まれたさまざまな地域資源や歴史資源などを活かした美馬特有の魅力を創出し、多くの人々が訪れ、また、町民が快適な暮らしを営んでもらうための取り組みを積極的に進めます。

| | |
|---------------|--|
| 自然資源 | 讃岐山脈の最高峰・竜王山、竜王山森林公園、三頭山、鏡嶽 |
| 観光・レクリエーション資源 | 四国三郎の郷（オートキャンプ場）、美馬温泉、美馬モーターランド、美馬ハングライダーサイト |
| 歴史資源 | 段の塚穴、寺町（郡里廃寺跡、願勝寺、西教寺、林照寺、安楽寺）、池月公園 |



美馬温泉



段の塚穴



半田町は、県都徳島市から西へ約55km、吉野川中流南岸に位置しています。東は山地の稜線で貞光町、南は一字村、西は三好郡三加茂町・東祖谷山村と接し、北は吉野川を挟んで美馬町と接しています。

地形は、ゴム長靴の形をした農山村で、吉野川沿岸沖積地、町の南北を貫流している半田川の下流域に広がるわずかな平坦地、山間地の3地形からなり、総面積51.52km²のうち、林野面積が76.2%を占め、耕地面積は6.9%となっています。

本町の交通は、吉野川と並行して、国道192号とJR徳島本線が町の北端を走っています。

本町は、江戸後期からそうめんの製造を始め、今や最大の地場産業となっています。また、昭和31年愛媛県から導入したあたご柿は特産品として完全に定着しています。この他、菌床しいたげやこんにゃくの栽培も盛んです。

また、古くから俳句や短歌が盛んで、特に俳句は軒並みたしなむほどでした。現在、町内各地に句碑・歌碑が建っています。また、町民の教育熱は高く、教育界に大物が輩出したこともあり、“教育の町半田”“文化の町半田”といわれてきました。

今後のまちづくりの方向としては、「人と緑かがやく“四季彩のまち”半田町」を基本目標とし、「健康福祉拠点の町」、「健康産業の町」といった特性を十分に活かすとともに、地場産業の振興を積極的に推進し、生活と生産の調和のとれた総合的な産業の振興を図ります。さらに、他地域との交流を促進し、地域の魅力や特性の再認識など郷土への愛着を高めるための施策を通じ、住民、特に若者が将来に希望のもてるまちづくりを推進します。

| | |
|---------------|---|
| 自然資源 | 土々呂の滝・白滝山周辺、高清の大杉・パウロの山桜 |
| 観光・レクリエーション資源 | 於安パーク、特産品としての半田そうめん、半田漆器、あたご柿、半田ふるさとまつり |
| 歴史資源 | 石堂神社、神宮寺、多聞寺、於安御前 |



土々呂の滝



半田ふるさとまつり

剣山の登山口として知られ
二層うだつの町並みが自慢

貞光町

SADAMITSU



貞光町

貞光町は、県都徳島市から西へ約50km、吉野川中流南岸に位置し、山間地に点在する集落が多く、過疎地域自立促進法の過疎地域に指定されています。東は東部山地の稜線によって、穴吹町、西は西山山地を境として半田町、南は一字村、北は吉野川を隔てて美馬町と接しています。また、本町は四国第二の高峰・国定公園剣山の登山口です。

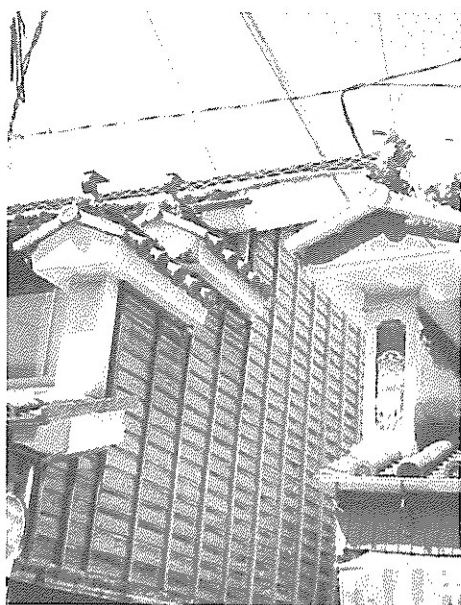
地形は、ほぼ長方形に近い形で、町の北部は吉野川沖積地、通称「貞光ジマ」とよばれる平野部と貞光川沿いの平地及び両岸の段丘よりなっています。南部は、四国山地の一部を占める急峻な山地で、林野面積は総面積45.40km²の約75%を占め、耕地面積は約10%です。

本町の交通は、東西交通軸として吉野川に沿って国道192号とJR徳島本線が走り、南北交通軸として貞光川に沿って国道438号が通り、一字村と連絡しています。四国縦貫自動車道の美馬インターチェンジと国道438号の三頭トンネルを経由して、徳島市、高松市へはともに車で1時間程度の距離にあります。

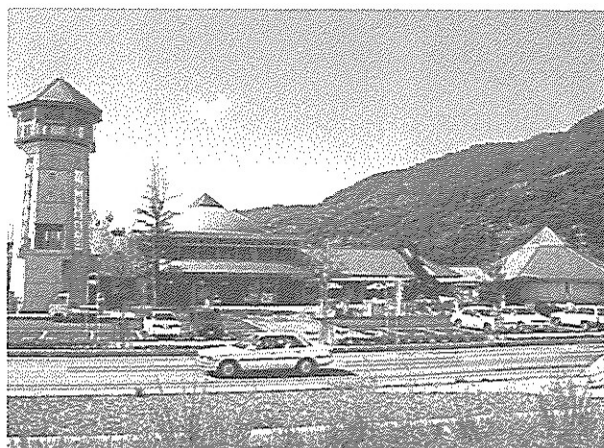
本町は、奈良時代以前から阿波の国を開拓した忌部氏の根拠地として開け、木綿麻の里または定満谷とよばれ、当地方の産業・文化の中心地でした。また、藩政期より葉たばこの製造販売、養蚕業を中心に栄え、「商売の町」といわれるほどの隆盛をみました。当時を偲ばせるのが、二層うだつの町並みです。平成7年度には「貞光ゆうゆう館」が完成し、「道の駅」「産業振興センター」及び第三セクターによるレストラン等の営業が始まり、都市と農村・人と人・人と物の交流拠点として年間70万人が利用しています。

今後のまちづくりの方向としては、「誇り・躍動・安堵感のあるまち 阿波貞光」を基本目標とし、豊かな緑と清流に囲まれたなかで、だれもが心豊かに暮らせる地域社会の実現を図るとともに、都市と農村の交流を促進して観光開発を図り、若者の流出に歯止めをかけるため、優良企業の誘致を行います。

| | |
|---------------|--|
| 自然資源 | 鳴滝、成谷の大杉、友内山、吉良のエドヒガン桜、剣山木綿麻温泉、吉野川、貞光川 |
| 観光・レクリエーション資源 | 道の駅・貞光ゆうゆう館、桜づつみ、剣山一気登りマラソン |
| 歴史資源 | 二層うだつの町並み、旧永井家庄屋敷、天岩戸神楽、忌部神社、東福寺 |



貞光の重層うだつ



道の駅・貞光ゆうゆう館

山々の緑と清流に
心なごむ山あいの村

一字村

I C H I U



一字村

一字村は、美馬郡の南部に位置し、J R 貞光駅より南へ16kmのところであり、典型的な山村です。東は木屋平村、穴吹町、西は東祖谷山村、西北に半田町、北は貞光町と、それぞれの町村に隣接しています。村の南には国定公園剣山、塔の丸、西には矢筈山、黒笠山など周囲を標高1,000m以上の急峻な山々に囲まれ、これらに源を発する貞光川が村の中央を北に向かって貫流し、吉野川に注いでいます。

村の総面積97.88km²のうち、92.1%が林野面積で、耕地面積は1.4%にすぎません。地形は急傾斜地で平地はほとんどなく、耕地としては山腹の斜面に段々畑があり、水田農家は現在1軒もない零細農業村です。

本村の交通は、村の中心を南北に国道438号が通っており、官公署の集中している古見地区からは隣接の貞光町へ16km、所要時間40分の路線バスが運行されています。

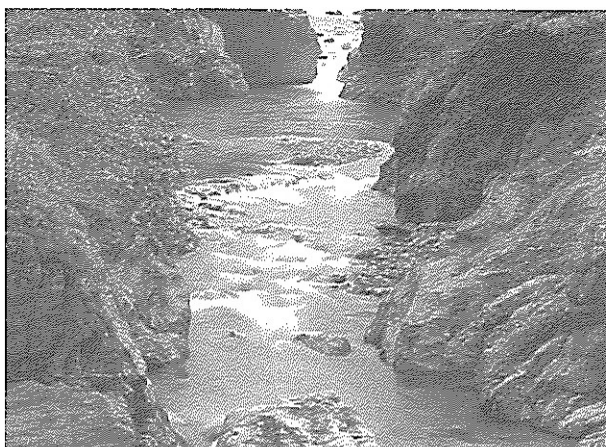
本村には、江戸中期、干ばつと重税に苦しむ農民を救うため、直訴して死罪となった庄屋・谷貞之丞の義人伝説を芝居にして語り伝えようと、平成3年に村芝居いちう座が結成され、徳島県の推薦を受け、人権劇としても村内外で活躍しています。

また、本村には、巨樹がいたるところで発見され、全国的にも稀な地域として大きな話題を呼び、積極的に「巨樹の里」の情報発信を行っています。

今後のむらづくりの方向としては、都市と農村の交流を促進しながら、田舎志向の人々にとっても魅力があり、かつ高齢者など住民が豊かに住める村づくりを基本とした、都会にはない一字村ならではの生活環境を構築するとともに、地域づくりに積極的に取り組む青壮年層の育成と確保を図りながら、地場産業基盤をより強化し、多自然居住型ライフスタイルの実現をめざしています。

特に中・長期的に「森林交付税」「水資源涵養税」等の制定も念頭におき、「自然を残せば人が集まる」を合い言葉に、広葉樹林地域の拡充、水資源の涵養に努めるなど、自然環境の整備を進め、次世代における自然ふれあい型の観光地の確立と豊かな自然の中での総合的医療・福祉施設を拠点とした「クア・ビレッジ」構想の実現を促進します。

| | |
|---------------|--|
| 自然資源 | 一字峡、土釜、巨樹の里、日本一のエノキ |
| 観光・レクリエーション資源 | 剣山スキー場、ラ・フォーレつるぎ山、温泉保養センター岩戸荘、剣山一気登りマラソン |
| 歴史資源 | 下宮神社、五所神社、天の磐戸、義人谷貞之丞之碑、雨乞い踊り、廻り踊り |



一字峡



剣山スキー場

利便と秘境の二つの
顔をもつ清流郷

穴吹町

A N A B U K I



穴吹町

穴吹町は、県都徳島市から西へ約40km、吉野川中流南岸に位置し、北は吉野川を隔てて脇町、西は真光町、南は木屋平村、東は麻植郡山川町と境を接しています。

町を南北に貫流する穴吹川は水質四国一で、剣山に源を發し、剣峽と称する溪谷美を形成し、吉野川に注いでいます。

地形は、平坦地と山間部に分かれ、平坦地は吉野川流域で、地味は肥沃であるのに対して、山間部は穴吹川流域で、ほとんどが山間急傾斜地帯に狭小な耕地が点在しています。町の総面積108.88km²のうち、82.6%が林野面積を占め、耕地面積は4.3%です。

本町の交通は、町の北部をJR徳島本線と国道192号が走り徳島市へ約1時間、また国道193号で高松市へ約1時間、四国縦貫自動車道の脇町インターチェンジを利用すると、徳島市へ約40分で行けます。木屋平村には国道492号が通じています。

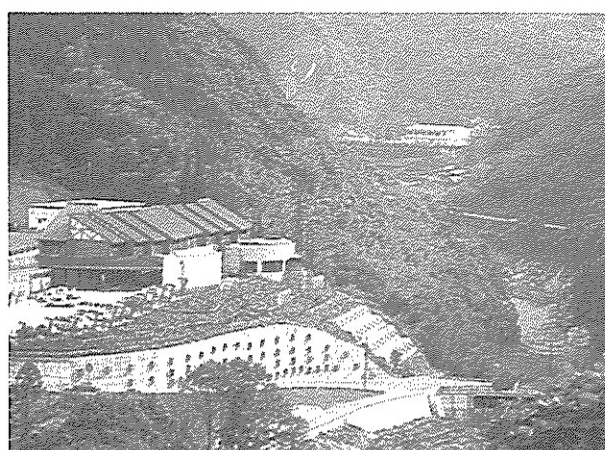
本町は、郵便番号が777のラッキーナンバーで、平成7年7月7日に生まれた全国の赤ちゃんに「百日紅」(さるすべり)をプレゼントしました。この取り組みを契機に、ラッキータウン穴吹とラッキーな子供たちとその家族との交流の輪が広がっており、平成14年7月にはその子供たちの7歳の誕生日のお祝いをする「777バースデー in あなぶき」を開催することになっています。

今後のまちづくりの方向としては、「みどり香るふれあいの郷 あなぶき」を基本目標とし、「清流穴吹川を町のシンボルとするまちづくりの推進」「観光交流を起爆剤としたまちづくりの推進」「みんなで取り組む住民主役のまちづくりの推進」という基本戦略を踏まえて、町の自然と歴史、社会的特性を活かした個性豊かな地域づくりを推進します。

| | |
|---------------|---|
| 自然資源 | 穴吹川、剣峽、閑定の滝、恋人峠 |
| 観光・レクリエーション資源 | 清流の郷・ブルーヴィラあなぶき、グリーンヒルあなぶき、四国カントリークラブ、しらたえ工房、穴吹川イカダ下り |
| 歴史資源 | 白人神社、新山大師堂、本楽寺、三宅速・アインシュタイン友情の碑、岡本監輔の碑 |



穴吹川イカダ下り



清流の郷ブルーヴィラあなぶき



木屋平村

木屋平村は、徳島県のほぼ中央部に位置し、四国第二の高峰・剣山の山懐に抱かれた山村で、村の周囲は、剣山を筆頭に標高1,000m級の山々が連なる山岳地帯で、中央部には剣山に源を発する水質四国一といわれる清流・穴吹川が流れています。川の沿岸部には、所々に平地がみられ、集落が開けていますが、北部を中心にV字型の溪谷が多く、これらを避けて山の中腹に集落を形成する、他地域でも珍しい生活体系をとっています。

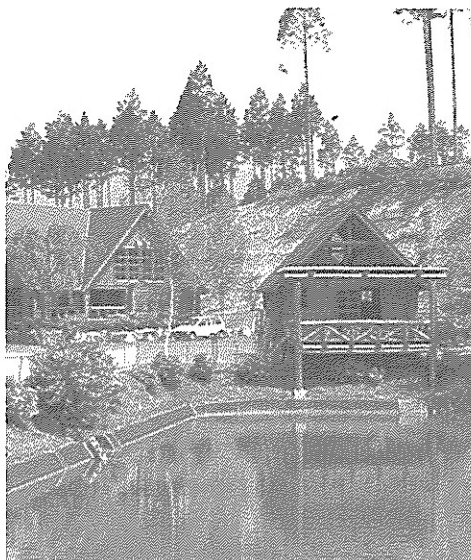
本村の総面積100.97km²のうち、林野面積は94.5%を占め、耕地面積は1.4%です。最高峰の剣山山頂から最も低い場所との標高差は実に1,700mあり、これがさまざまな四季の変化をもたらし、特に冬季の冷え込みは厳しく、積雪が多いなど日本海側に似た気候を呈しています。

本村の交通は、穴吹町から延びている国道492号と、神山町・佐那河内村経由で県都徳島市へ延びている国道438号があります。穴吹町へは村を走るただ一つの公共交通機関である村営の「穴吹・木屋平連絡バス」が1日3往復していますが、徳島県内の代替バス事業のうち、黒字経営は本村のみです。

本村は、平安時代の初め、阿波の忌部氏族の末裔である三木氏が一族を率いて入山したのが、村づくりの始まりだと伝えられています。平家の落人伝説をはじめ、南北朝時代には阿波山岳武士の本拠地として幾多の伝説を残しています。村内には、藤原時代から鎌倉時代の多くの貴重な文化財が残され、人里離れた山間の村でありながら、平野部と変わらない文化が栄えていたことを物語っています。

今後のむらづくりの方向としては、「和・輪・話のむらー木屋平」を基本目標とし、「村まるごとベンチャービジネス集団」「ホスピタリティーなむらづくり」といった自主的・主体的な地域づくりを推進し、都市と農村の交流を促進しながら「多自然居住空間の創造」といった独自性のあるむらづくりを推進します。

| | |
|---------------|---|
| 自然資源 | 穴吹川、あめご釣り、あめご養殖場、剣山、一の森、中尾山高原、八幡の大杉、川井のエドヒガン桜、川井のヒイラギ、行場のキレンゲショウマ |
| 観光・レクリエーション資源 | 一ノ森ヒュッテ、グラススキー場、平成荘、中尾山高原てっぺんフェスティバル、つるぎの湯大桜、剣山一気登りマラソン |
| 歴史資源 | 三木家住宅、木屋平村民俗資料館 |



中尾山高原



中尾山高原てっぺんフェスティバル

社団法人美馬青年会議所創立20周年記念誌

発行日／平成13年 7 月 8 日

発 行／社団法人美馬青年会議所

編 集／総務広報委員会

印 刷／株式会社 坂東印刷

美馬郡観光イラストマップ

美馬和傘

美しい色と柄の、伝統を誇る手作り和傘。送迎用や舞妓さんの装りに欠かせません。

竜王山森林公園

原生林が残る美しい自然の宝庫。キャンプ場やロッジで自然を満喫できます。

美馬温泉

美馬町山間部にある町営温泉です。綺麗な景色の中でのんびり過ごせる穴場です。

美馬町寺町

美馬町は歴史上、かなり古くから栄えた所。由緒あるお寺の散策はながながの癒です。

青木邸

かつての豪商であった青木邸跡。今ここは美術や音楽の新しい発信地です。

小笠原城跡

敵がな付まいの城跡。お寺やお城など、美馬町の歴史を物語る一角です。

美馬モーターランド

轟音が迫力のモトクロスレースを堪能できる。全国大会も開催される公式コース。

四国ハンググライディングサイト

西日本のハンググライダーならここが一番。日本選手権大会も開かれました。

池月公園

「美馬」の名前の由来でもある名馬「池月」を偲ぶ美しい公園です。

道の駅貞光ゆうゆう館

国道192号線沿いのドライブのオアシス。特産物を生かした料理も味わえます。

貞光町うだつの町並み

「うだつ」は脇町だけでなく貞光町・池田町にもあります。ここの特徴は二層うだつ。

剣山

日本三大霊峰の一つである剣山。登山やスキーなどのメッカです。

剣山スキー場

四国の数少ないスキー場。結構上級者向けなです。

剣山頂上ヒュッテ

ここはたどり着いて、絶景と達成感に感動しないはいけません。

天の磐戸

昔、天照大神が洞窟に隠れられたお祈り神々が舞い降り、語り継いだという伝説の巨石がある。

半田そうめん

半田町特産品の代表選手。冬の寒い間に作られる、麺の強いための麺がたまらない。

於安パーク(おやすパーク)

自然を愛する人たちの手作り公園。多くの遊具を遊んで、四季の花が美しい。

半田の大桜

毎春、日本人を惹き付けてやまない桜。桜吹雪の美しさも見事な半田町の大桜です。

土々呂の滝

半田川支流の落差30mの勇壮な滝。4-10月の美しいライティングは壮観です。

鳴滝

3段の長さをお合わせる80mにもなる県内屈指の名瀑。虹のような美観。

高清大杉

県指定天然記念物の2株の御神木です。何故か心が和ませてくれる確しの大杉。

中尾山高原

四国山脈の美観が堪能できる爽やか高原。浮き世をしばし忘れ、オゾン浴でリフレッシュ。

温泉保養センター

気持がよさ100%。山のふもと天然温泉。日本人に生まれで良かったと、しみじみ感動。

一字峡

県下八景の一つに数えられる美しい渓谷。強烈な水と緑の響りが、五感に染み渡ります。

東福寺

緑深い山の中腹に佇む真言宗のお寺。本格的な精進料理は、住僧夫人の手作り。

一の森ヒュッテ

高知県との県境に近い、絶景の山小屋。登山客に一時のやすらぎを与えてくれます。

エドヒガン桜

県内でも有数の樹齢400年の大桜。大きく広がった枝一杯の満開の花が見事。

あんみつ館

シンビシウム種苗生産日本一の河野メリクロン。ガラス張りの館内に、蘭の花の甘い響りが漂う。

大滝山

脇町と香川県塩江町の県境にそびえ立つ標高946mの霊山。

デレーケ砂防ダム

オランダ人技師デレーケが大谷川に築いた、石積み美しい砂防ダムは、今も健在です。

夏子休憩所

国道193号線沿いの夏子ダムに隣接する、洒落たロケーションの、食事でもできるうれしい休憩所。

夏子ダム

清水峠の渓谷にガガるちょっと小さめのダム。バスフィッシングで大物が狙えるかも？

美村ヶ丘

2000年オープンのまさらレジャー施設。遊んで楽しむ、くつろいで楽しむのバラダイス！

大場池

脇町が誇る県内屈指の桜の名所。山景色に映える桜並木から、春が降りて来ます。

旧長岡家住宅

歴史を物語る、茅葺き屋根の現存する文化財。ここは時間が止まっているのでしょうか。

脇町うだつの町並み

町名「虹をつがむ男」の口で地蔵一躍全国に名を知らしめました。山田洋次監督に感謝。

オデオン座

脇町劇場は本当にオデオン座になってしまいました。映画だけでなく演劇などでも頑張っています。

小星公園

「小星のお太子さん」周辺の美しい公園。ちょっとしたハイキングに持ってこいの場所。

吉野川

福田橋から見る夕景はすこく美しいのです。脇町に住んでいても今に感動できるスポットです。

脇町城跡

昔の付まいを、ほのかに残している脇町城跡。どんな天守閣が建っていたんでしょうね？

中島潜水橋

吉野川にほとんど残っていない数少ない潜水橋。細く小さな橋ですが、残しておきたい風景です。

別所の大楠

5月の新緑がなんとも綺麗です。ここには「とうへえだぬき」という強いだぬきがおたぞうな。

脇町ショッピングセンター・パルシー

うだつ町の町並みの家屋を模して作られたショッピングセンター。

大塩平八郎生誕地

通称「赤門寺」。大塩平八郎の墓跡以外にも見どころあり。住職が親切に案内してくれます。

グリーンヒルあなぶき

吉野川を一望できる、山の中腹に建つ保養施設。いろいろな温泉が楽しめる、花が咲き乱れるオアシス。

穴吹川ふれあい広場

川で遊ぶならここが一番！なんだった穴吹川は水質では日本屈指の清流です。カッパがいるかも？

四国カントリークラブ

攻めるには、なかなか手強いコースらしいです。あなたの実力を試してみませんか？

ブルーヴィラあなぶき

閑静な穴吹川の中流に佇む、風光明媚な温泉施設。良い景色と良い温泉は長生きの秘訣です。

三木家住宅

古き良き昔を現世に留める文化財。ふるさとの原点がここには残されています。

いかだ下りスタート地点

毎年恒例の御存じいかだ下りレース。ユニークな人達と、ユニークないかだによる穴吹川物語です。

恋人峠

ここは恋人達の願いが叶う聖地なのではないか？ささまざまなお願いのお札がかけられています。

閑定の滝

奥深い渓谷に落ちる神秘的な滝。美しい渓谷にアクセントを添える水の音が、心を洗ってくれます。

企画制作

●社団法人 美馬青年会議所

協力 ●美馬地区広域行政組合

脇町・穴吹町・木屋平村・美馬町・貞光町・半田町・

一字村(順不同)

